

【ソフトウェア使用許諾書】

下記の条項は株式会社アーク情報システム（以下「ARK」といいます）が、「CD 革命 /Virtual」（コンピューター・ソフトウェア、マニュアル、その他関連資料を含み、以下「本ソフトウェア」といいます）に適用いたします。

1. 使用許諾

- ①お客様は本ソフトウェアを、1 台のコンピューターに限り使用できます。
- ②光ディスクドライブ共有機能においては、ホストプログラムは 1 台のコンピューターに限り、クライアントプログラムは、同一個人で所有するコンピューターに限り複数台のコンピューターで使用できます。ただし、法人ユーザーの場合、クライアントプログラムは 1 台のコンピューターに限り使用できます。
- ③お客様は、本ソフトウェアのバックアップを目的に、ただ一つの複製を作成することができます。

2. 使用許諾期間

- ①本契約は、お客様が本契約の内容に同意して本ソフトウェアの使用を開始したときより発効し、お客様が本ソフトウェアの使用を止められたとき、または本ソフトウェアのアップグレード品の契約が結ばれるまでを有効とします。
- ②お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、ARK は本契約を一方的に終了させていただくことがあります。

3. 保証および責任の内容

- ① CD およびマニュアルに物理的な欠陥がある場合は、購入後 90 日以内は無償で交換いたします。ただし、お客様は本ソフトウェアの購入日を証明できる写しを添付しなければなりません。それ以外の場合は実費をご負担いただきます。
- ② ARK は、本ソフトウェアの仕様およびサービスの内容を予告なしに変更することがあります。なお、本製品のサポートサービス終了に関しては、Web ページにてご案内いたします。
- ③ ARK は、サポートを終了した製品に関しては、サポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
- ④サポートサービスは、ARK の規定に沿って電話、メール、FAX で行いますが、サポートサービスがお客様の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑤ ARK は、ユーザー登録がなされない場合や、登録変更の届け出がなされない場合、またはその内容に不備がある場合において、ARK からお客様へ連絡の不達において生じる不利益および損害については、一切の責任を負うものではありません。なお、メール等でご案内する本ソフトウェアに関する情報やサポートサービスの内容に関しては、Web サイトでも同内容のご案内をしておりますので、こちらをもってお客様へのご連絡とさせていただきます。
- ⑥ ARK および Microsoft は、いかなる場合にもお客様が本ソフトウェアを使用した結果に関して一切の責任を負うものではありません。
- ⑦本契約のもとで、本ソフトウェアの品質および性能に関して発生する問題は、お客様の費用負担をもって処理するものとします。
- ⑧本契約のもとで、ARK がお客様に負担する責任の総額は、本ソフトウェアの購入金額を超えないものとします。
- ⑨本ソフトウェアのサービス（主にサポートサービスとなりますがこれに限りません）は日本国内に限定されるものとします。また、日本語で対応することとします。

4. 禁止事項

- ①本ソフトウェアを逆コンパイルまたは逆アセンブル、またはその他の方法でソースコードを解析すること。
- ②本ソフトウェアを譲渡、転貸、再販売、輸出すること。
- ③ ARK への文書による事前の承諾なしに、本ソフトウェアの二次著作物を創作、譲渡、販売、転貸すること。
- ④ ARK への事前の承諾なしに、本ソフトウェアを引用し書籍を刊行すること。
- ⑤ネットワークにおいて、本ソフトウェアを私的使用を超える範囲で利用すること。

5. その他

- ①お客様および ARK は、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とするものとします。

著作権

- ・ CD 革命 /Virtual の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
- ・ 光ディスクドライブ共有機能の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
- ・ CD 革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

目 次

導 入 編

- ・ CD 革命 /Virtual をご利用いただけるシステム環境 導入編ー2
- ・ CD 革命 /Virtual をインストールする 導入編ー4
- ・ 注意事項・制限事項 導入編ー6

基本操作編

- ・ CD 革命 /Virtual の基本機能 基本操作編ー2
- ・ CD 革命 /Virtual のメイン画面 基本操作編ー3
- ・ 仮想 CD を構築する（簡単構築） 基本操作編ー4
- ・ 仮想 CD を構築する（詳細構築） 基本操作編ー5
- ・ 仮想 CD をマウントする（挿入する） 基本操作編ー7
- ・ 仮想 CD をイジェクトする（取り出す） 基本操作編ー8
- ・ 仮想 CD を削除する 基本操作編ー9
- ・ 仮想 CD ドライブの数を変更する 基本操作編ー10

応用操作編

- ・ 仮想 CD ドライブのドライブ文字を変更する 応用操作編ー2
- ・ 仮想 CD フォルダを利用する 応用操作編ー4
- ・ 仮想 CD にコメントをつける 応用操作編ー6
- ・ 仮想 CD を登録する 応用操作編ー7
- ・ 登録された仮想 CD を検索する 応用操作編ー8
- ・ 仮想 CD 構築オプションを設定する 応用操作編ー9
- ・ 詳細構築時のオプションを設定する 応用操作編ー10
- ・ 仮想 CD にパスワードを設定する 応用操作編ー11
- ・ 仮想 CD のアイコンを変更する 応用操作編ー12
- ・ CDDb から CD 情報を取得する 応用操作編ー13
- ・ ホットキーで仮想 CD を入れ替える 応用操作編ー14
- ・ CD をバックアップする 応用操作編ー15
- ・ 仮想 CD をメディアに書き込む（FCD のバックアップ） 応用操作編ー17
- ・ 仮想 CD ファイルをバックアップする（FCD ファイルのバックアップ） 応用操作編ー19
- ・ コンピュータ／エクスプローラから仮想 CD を操作する 応用操作編ー20
- ・ 指定したフォルダの仮想 CD ファイルを起動時に追加する 応用操作編ー21
- ・ 別のコンピュータの CD ドライブを共有する 応用操作編ー22
 - ①クライアントコンピュータに
「光ディスクドライブ共有ツール」をインストール 応用操作編ー22
 - ②ホストコンピュータにホスト用アプリをインストール 応用操作編ー23
 - ③クライアントコンピュータでドライブ共有設定 応用操作編ー24

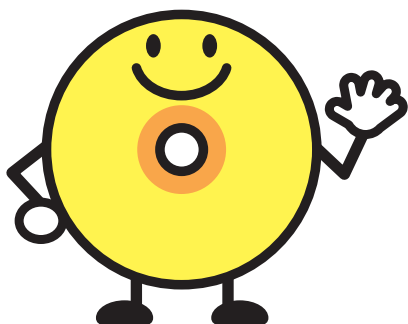
拡張機能編

- ・ 仮想 CD 編集メイン画面 拡張機能編— 2
- ・ オリジナルの仮想 CD を構築する（仮想 CD の編集） 拡張機能編— 3
- ・ オリジナルの仮想 CD を編集する（ファイルの追加・削除） 拡張機能編— 6
- ・ 仮想 CD 専用のオーディオプレーヤーを使用する（FCD JUKEBOX） 拡張機能編— 8
- ・ 仮想 CD ファイルの形式を変換する（FCD Converter） 拡張機能編— 10
- ・ RW/RE メディアの消去 拡張機能編— 13
- ・ CD/DVD ドライブのアイコンを変更する（Changelcon） 拡張機能編— 14
- ・ コンピュータ情報の取得 拡張機能編— 16

付 録

- ・ 用語の解説 付録— 2
- ・ ユーザーサポートのご利用にあたって 付録— 6
- ・ ユーザーサポート申込書 付録— 7

導 入 編



ここでは、CD 革命 /Virtual の動作環境、インストール方法、お使いになるに当たっての注意事項などについて説明しています。

CD 革命 /Virtual をご利用いただけるシステム環境

CD 革命 /Virtual をご利用いただくためには、次のコンピューターハードウェアおよびオペレーティングシステムが必要です。

コンピューターシステム環境

オペレーティングシステム (日本語版の右のいずれか)	Windows 8 32bit/64bit 版 Windows 7 32bit/64bit 版 (SP1 以降) Windows Vista 32bit 版 (SP2 以降) ※ Windows XP の 32bit 版へのインストールは可能ですが、サポート対象外となります。 ※ Windows Vista/XP の 64bit 版には対応していません。 ※ サーバー系の OS には対応していません。 ※ アドミニストレータ権限 (管理者権限) が必要です。
コンピューター	上記の OS が稼働するコンピューター (PC/AT 互換機のみ) ※ Macintosh (Mac) には対応していません。
メモリー	Windows 8/7 64bit 版 : 2GB 以上 Windows 8/7 32bit 版 : 1GB 以上 Windows Vista 32bit 版 : 512MB 以上 (1GB 以上を推奨)
ドライブ	CD/DVD/BD ドライブ ※ ライティング機能を使用する場合は、各メディアへの書き込みに対応したドライブが必要です。
ハードディスク	50MB 以上の空き容量 (本製品のインストール用として) ※ このほかに、仮想 CD を保存するための空き容量が必要です。 ※ ライティング機能を使用する場合、書き込み先メディア 1 枚分の空き容量が必要です。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ オーディオを再生するためにはサウンドボード (機能) が必要です。・ Windows 8/7/Vista で MP3 を利用するには、MP3 CODEC が必要です。・ CDDb サーバーから情報を取得するには、インターネット接続環境が必要です。・ 光ドライブ共有機能を使用するためには、TCP/IP で構成されたマイクロソフトネットワークが必要です。

ご利用の前にお読みください

・既存のコンテナファイルの登録について

旧バージョンをお使いのお客様の場合、新バージョンをインストールするために旧バージョンをアンインストールすることになります。アンインストールしても仮想 CD ファイル（拡張子が FCD のファイルで、コンテナファイルともいいます）は削除されませんが、新バージョンでお使いいただくためには、再登録をする必要があります。新バージョンをインストール後にメイン画面から「仮想 CD の登録」を行ってください。

・旧バージョンで作成した仮想 CD ファイルについて

基本的に旧バージョンで作成した仮想 CD ファイル（拡張子が FCD のファイル）を使用することは可能ですが、作成した CD 革命 /Virtual のバージョンや CD/DVD ドライブ、OS などによっては、一部使用できないことがあります。なお、互換モード（NoRAW モード）で作成した仮想音楽 CD は、仮想 CD ドライブにマウントすることはできませんが、オーディオトラックは再生できません。

・USB、IEEE1394 接続の周辺機器を接続時の注意事項

USB や IEEE1394 接続の周辺機器を接続されている場合は、CD 革命 /Virtual のインストールを行うことで、ドライブの順番（ドライブ文字）が変

わってしまうことがあります。

このような場合は、Windows の「ディスクの管理」よりドライブの文字を変更することができます。

・「ディスクの管理」でのドライブ文字の変更手順

- ①デスクトップで「コンピュータ（マイ コンピュータ）」のアイコンを右クリックします。
- ②メニューの中で「管理」を選択します。
- ③「記憶域」の下にある「ディスクの管理」を選択します。
- ④ドライブ文字を変更したいドライブを右クリックし、「ドライブ文字とパスの変更」を選択します。
- ⑤変更したいドライブ文字を割り当ててください。

・その他

- ・CD 革命 /Virtual により、CD、DVD、BD の仮想化、書き込みができますが、本書ではとくに区別する場合を除いて「CD」または「CD/DVD」と記述しています。
- ・本マニュアルは Windows 8 の画面を使用して作成しています。Windows 7/Vista では画面表示が異なりますが、手順や結果などは同じです。
- ・本マニュアルは開発中のプログラムを使用して作成しているため、画面表示が製品版と異なる場合があります。
- ・本マニュアルに記載された機能はアップデートなどで予告なしに変更することがあります。

違法な複製に対する警告

「CD 革命 /Virtual」を利用して仮想 CD を構築すると、CD タイトルをハードディスクに複製することになります。

CD タイトルは、個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内において使用すること（以下、「私的使用」といいます）を目的とする場合を除き、権利者に無断で複製することは法律で禁じられています。したがって、CD 革命 /Virtual を使って、私的使用の範囲を超えた仮想 CD の構築を行ってはいけません。また、CD タイトルのメーカー（販売者）との間で使用許諾契約など（以下、ライセンス契約といいます）を結んでいる場合、CD タイトルの複製についてはそのライセンス契約に拘束されます。ライセンス契約によっては、複数のコンピューターあるいはネットワークなどに使用できないケースがあります。

CD タイトルの複製についてご不明な点がございましたら、著作権法、ライセンス契約書などの関連条文を参照し、それぞれに違反することがないように十分ご注意ください。

お客様が CD 革命 /Virtual によって違法な複製を行い、あるいはライセンス契約に違反して複製を行った場合、弊社は一切の責務および賠償責任を負いません。

CD 革命 /Virtual をインストールする

CD 革命 /Virtual をインストールする手順を説明します。旧バージョンの CD 革命 /Virtual がインストールしてある場合にはアンインストールしてから本製品「CD 革命 /Virtual Ver.13」のインストールを始めるようにしてください。

1 製品 CD の挿入

CD 革命 /Virtual の製品 CD をドライブに入れます。

2 インストール開始

「インストール開始」をクリックします。



3 シリアル番号の入力

シリアル番号を入力します。



- シリアル番号は、半角英字の大文字と半角数字で入力してください。
- (例) ABCD-EI2-FGH345JK67
- 受け付けられないときは、全角文字や小文字になっていないかどうかを確認してください。

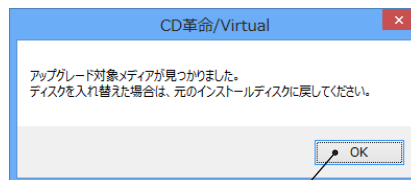
アップグレード版の場合はアップグレード対象製品の CD の挿入が求められます。

該当する製品 CD に入れ替えて（ドライブが2台以上のときは挿入するドライブ文字を指定）ください。



クリック

対象製品の CD が確認できると、次の画面が表示されます。ドライブが1台のときは本製品の CD に入れ替えて「OK」をクリックすると、インストールが継続します。



クリック

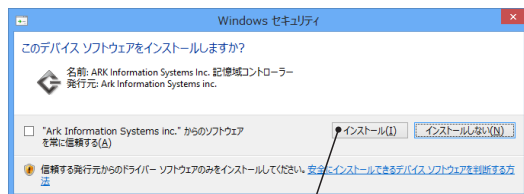
※アップグレード対象製品

CD 革命 /Virtual Ver.1～Ver.12Std、Pro 版いずれも可)
※ダウンロード版、バンドル版は対象外となります

4 ドライバのインストール (初回のみ)

CD 革命 /Virtual を初めてインストールするときのみ次の画面が表示されます。

「インストール」を選択します。



クリック

5 再起動

インストール後、コンピュータを再起動します。

アンインストールは、Windows の「コントロール パネル」を開き、「プログラムのアンインストール」から行ってください。

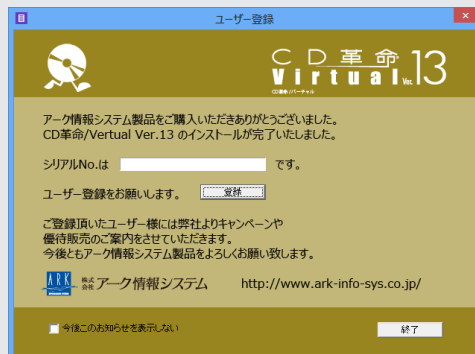


ユーザー登録画面の表示

CD 革命 /Virtual をインストールした後、最初に起動したときにユーザー登録画面が表示されます。

お客様のコンピュータがインターネットに接続されている場合には、「登録」ボタンをクリックすると弊社の Web サイトのユーザー登録ページが開き、ユーザー登録が可能になります。

「今後このお知らせを表示しない」にチェックを入れない場合、以後「CD 革命 /Virtual」を起動するたびにこの画面が表示されます。



Ark ランチャーについて

CD 革命 /Virtual には、各機能を簡単に呼び出すことができる「Ark ランチャー」があります。インストール後に、デスクトップに Ark ランチャーのアイコンが作成されます。本マニュアルでは、この Ark ランチャーから実行する方法を紹介しています。なお、各機能については、Ark ランチャーのほかに CD 革命 /Virtual のメイン画面、Windows のスタートメニューからも呼び出すことができます。



注意事項・制限事項

仮想 CD の構築について

- ・お使いの環境に DVD-RAM のドライバーがインストールされているとき、仮想 CD の構築ができない場合があります。構築が正しく動作しない場合は、DVD-RAM のドライバーをアンインストールしてみてください。
- ・お使いのドライブによっては、構築オプションの「エラー処理設定」が「自動」の場合、構築時に Windows が操作不可になるなどの現象が発生します。このようなドライブでは「手動」を選択して構築を行ってください。
- ・構築オプションの中で「TOC を無視する」オプションを使用すると、構築終了直前で遅くなったり止まってしまったりすることがあります。このような場合はチェックを入れないで構築を行ってください。
- ・構築時に表示される残り時間は概算の値です。メディアの性質により、実際に構築にかかる時間とは異なることがあります。
- ・「MDS」、「ISO」のオプションを選択して仮想 CD の構築を行う場合、ファイルは分割されません。サイズが 4GB 以上のメディアは、ファイルシステムが NTFS のドライブに保存してください。
- ・構築する CD メディアのフォーマットによっては「MDS」のオプションを選択できない場合があります。
- ・光ディスクドライブ共有機能で共有したホストコンピュータ側のドライブに挿入したメディアを、クライアントコンピュータで仮想 CD の構築を行う場合は、プロテクトがかけられたメディアは正常に構築ができないことがあります。

プロテクト CD/DVD の構築について

- ・構築対象のメディアにプロテクトがかけられている場合は、使用するドライブによっては読み込みに非常に時間がかかったり途中で止まってしまうことがあります。

- ・プロテクトメディアは、仮想 CD を構築してもアプリケーションを起動することができない場合があります。複数のドライブをお持ちの場合は、構築を行うドライブを変えてみてください。なお、必ずしもすべての環境で構築が可能であるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。
- ・エラーセクターを利用したプロテクトのメディアの場合、エラーセクターの部分の読み込みに時間がかかるため、構築に時間がかかることがあります。構築時に表示される残り概算時間が異常に増加することがありますが、エラーセクターがある部分を抜けると残り時間は減少します。
- ・市販の DVD VIDEO や BD VIDEO は、CSS や AACs によるコピー防止技術（プロテクト）が施されているため仮想化して使用することはできません。

仮想 CD ドライブについて

- ・お使いの環境によっては、仮想 CD ドライブのドライブ数が多いと Windows の動作が不安定になることがあります。特に、仮想 CD ドライブ数が 21 台以上（環境によっては 8 台以上の場合もあります）にした場合に発生する確率が高くなります。このような場合は、仮想 CD ドライブ数を少なくしてご使用ください。

仮想 CD のマウントについて

- ・USB や IEEE1394 接続のハードディスクに保存されているコンテナファイルをマウントしたまま Windows の再起動を行うと、環境によっては再起動後にイジェクトされてしまうことがあります。

ネットワークドライブに保存した仮想 CD ファイルを使用する場合の注意事項

- ・ネットワークドライブに保存されているコンテナファイルを仮想 CD ドライブにマウントしたま

ま、Windows を再起動するとイジェクトされます。

- ・ネットワークドライブに保存されているコンテナファイルは、複数のユーザーで同時には使用できないことがあります。
- ・ネットワークドライブへのアクセス権の問題で、登録した仮想 CD が「不明ファイル」と表示されてしまうことがあります。ユーザーアカウント制御 (UAC) を無効にすることで改善される場合があります。

仮想 CD 編集機能について

- ・英語以外の外国語の文字（中国語の文字やドイツ語のウムラウト文字など）や外字エディターにより作成された特殊な文字が使用されているファイル、フォルダーからは仮想 CD を構築できないことがあります。
- ・ISO、CDDA、MIX フォーマットで編集を行うことができるコンテナファイル（FCD ファイル）は、99 分（870MB）以下、99 トラック以下となります。
- ・UDF フォーマットでは 1 ファイルが 4GB 以上のファイルをデータ区域に追加することはできません。また、49GB まで仮想 CD の作成が可能です。
- ・CDDA、MIX フォーマットの仮想 CD を作成する際に、「オーディオファイルの音量を調整する」オプションを選択した場合、登録した音楽データによっては十分な効果が得られない場合や音が割れることがあります。
- ・再編集（追加・削除）を行うことができるコンテナファイルは、「仮想 CD 編集」機能で作成したコンテナファイルのみとなります。

ユーティリティについて

- ・「FCD Converter」で FCD ファイルから ISO ファイルに変換する場合に、変換元とする FCD ファイルのサイズは 700MB 以下となります。
- ・「Changelcon」で変更したアイコンは、CD 革命 /Virtual をアンインストールしても元に戻りません。元に戻す場合は、アンインストール前に

「Changelcon」の「編集」メニューより、「すべてリセット」を選択してください。

- ・「FCD JUKEBOX」の「音量調整」オプションを選択した場合、登録した音楽データによっては十分な効果が得られない場合や音が割れることがあります。

CDDB サーバーからの情報取得について

- ・インターネットに接続する環境がない場合は、CDDB サーバーからタイトルや曲の情報を取得することができません。
- ・ファイアウォールが有効になっている場合は、CDDB サーバーへの接続ができないことがあります。ファイアウォールの設定を確認してください。
- ・CDDB サーバーに曲情報が正しく登録されていない場合は、タイトルや曲名が表示されないことがあります。
- ・CDDB サーバーから取得した情報に Windows のフォルダー、ファイル名に使用できない文字が含まれていることがあります。特に、海外の CDDB サーバーから情報を取得する場合、日本語の文字（2 バイト文字）は「？」で表示されるため、仮想 CD の構築時のフォルダー、ファイル名に「？」が入力されてしまい構築できません。この場合は、フォルダー、ファイル名を変更してください。
- ・CDDB サーバーから取得する情報は必ずしも正しいものであるとは限りません。異なる CD の情報が表示されることがあります。

その他の注意事項

- ・CD 革命 /Virtual は製品の性質上、お使いの環境によっては、CD/DVD に関係するソフト（ライティングソフト、DVD-RAM ドライバ、オーサリングソフトなど）との共存ができない場合があります。問題が発生する環境では、アンインストールを行う必要があります。
- ・他社製の仮想ユーティリティとの共存はサポート外とさせていただきます。ご了承ください。

CD/DVD/BD メディアへの書き込みについて

- ・安全に書き込むためには、常駐ソフトウェアやスクリーンセーバーを停止させ、省電力機能を解除してから書き込みを行ってください。
- ・異なるメディアにバックアップを行うことはできません（例：CD → DVD、DVD → BD）。
- ・CD 革命 /Virtual のライティング機能では、「オンザフライ」を選択しない場合にはメディアに書き込む前にイメージファイルを作成しますが、このイメージファイルの作成には、メディアサイズ以上の空き容量が必要です。
- ・4GB 以上の DVD/BD をバックアップする場合、イメージファイルを作成するために NTFS フォーマットで 4GB 以上の空きがあるドライブがないと書き込みができません（FAT32 フォーマットのドライブは、4GB 以上のファイルを作成できないため）。
- ・ドライブによっては、書き込みが終了した後の検査でメディアが認識できずに次のメッセージが表示され、メディアがイジェクトされることがあります。この場合は、メディアを挿入し「はい」をクリックして検査を行ってください。「いいえ」をクリックすると検査を行わずに書き込みを終了します。



プロテクト CD/DVD の書き込みについて

- ・構築対象のメディアにプロテクトがかけられている場合は、バックアップができないものがあります。
- ・プロテクトによるエラーセクターがある CD/DVD は、読み込みに非常に時間がかかることがあります。また、エラーセクターがある CD で「書

き込み終了後、検査を行う」にチェックを入れると、書き込み終了後の検査でエラーが発生します。エラーセクターがある CD/DVD は、チェックを入れないようにしてください。

- ・市販の DVD VIDEO や BD VIDEO は、CSS や AACSS によるコピー防止技術（プロテクト）が施されているためバックアップできません。

CD のバックアップについて

- ・CD 革命 /Virtual の仮想 CD ドライブを送り側ドライブにする場合、バックアップ可能な FCD ファイルフォーマットは次の通りです。
 - ① RAW モードで作成した ISO、Audio CD (CDDA)、MixCD、CD Extra フォーマット
 - ② NoRAW (互換モード) で作成した ISO フォーマット
 - ③ DVD フォーマット

FCD のバックアップについて

- ・ISO ファイルが分割されている場合はバックアップできません。
- ・FCD ファイル（コンテナファイル）でバックアップ可能なフォーマットは次の通りです。
 - ① RAW モードで作成した ISO、Audio CD (CDDA)、MixCD、VideoCD、PhotoCD、CD Extra フォーマット
 - ② NoRAW (互換モード) で作成した ISO フォーマット
 - ③ DVD フォーマット
 - ※「サブチャンネルを取得」「記録密度を取得」オプションにチェックを入れて作成した FCD ファイルは使用できません。
 - ※旧バージョンで「二重化セクタを取得」オプションにチェックを入れて作成した FCD ファイルは使用できません。
 - ※バックアップ元のメディアサイズが書き込み先のメディアサイズより大きい場合、バックアップを行うことはできません。

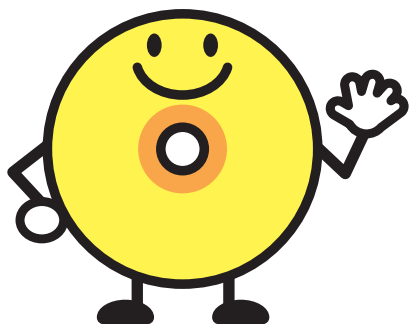
FCD ファイルのバックアップについて

- ・「ccd+img+sub」や「mds+mdf」のようにイメージファイルが複数のファイルによって構成されている場合は、セットになっているファイルをすべてバックアップします。CD 革命 /Virtual で再度使用する場合は、セットになっているファイルがすべて揃っている必要があります。
- ・分割されていない ISO ファイルはそのままバックアップできます。ISO ファイルが分割されている場合は「mds+iso」の形式であればバックアップができますが、「mds+iso」形式でない分割された ISO ファイルのバックアップはできません。

光ディスクドライブ共有機能について

- ・一つのネットワークセグメントを越える（ルーターを越える）環境での使用は、サポート対象外となります。
- ・Windows ターミナルサービス、リモートデスクトップの環境では使用できません。
- ・インストール、アンインストール、プログラム実行の際は、アドミニストレータ権限（管理者権限）が必要です。
- ・ホストプログラムとクライアントプログラムは、1 台のコンピューターに同時にインストールすることはできません。
- ・クライアントで共有したドライブは実装のドライブと同じように使用できますが、CD/DVD/BD メディアへのライティング、DVD-Video /BD-Video の再生、プロテクトが施されたアプリケーションの起動などは、環境やアプリケーションにより行えない場合があります。すべて実装のドライブと同じく動作する保証はありませんのでご了承ください。

基本操作編



ここでは、仮想 CD の構築、仮想 CD のマウント・イジェクトなど、CD 革命 /Virtual のメイン画面から行う基本的な操作方法について説明しています。

CD 革命 /Virtual の基本機能

CD 革命 /Virtual は CD/DVD を仮想化するソフトウェアです。CD 革命 /Virtual をインストールすると仮想 CD ドライブが作成され、本物の CD/DVD ドライブと同じように使用することができます。また、本物の CD/DVD の代わりになる仮想 CD は、ハードディスクの中に取り込んで使用します。

それ以外にもオリジナルの仮想 CD に編集する機能や、仮想 CD を便利に使うユーティリティが付属しています。

仮想 CD の構築

CD/DVD をハードディスクに取り込み、仮想 CD を作成することを、CD 革命 /Virtual では「仮想 CD を構築する」といいます。

作成した仮想 CD はハードディスク上に保存されるので、本物の CD/DVD を使用するよりも高速に読み込むことができます。構築した仮想 CD は、CD 革命 /Virtual のメイン画面で仮想 CD ドライブにマウントすることで使用可能となります。

仮想 CD の編集

ハードディスクや CD/DVD 中のファイルを集めて、オリジナルの仮想 CD を作成することができます。仮想データ CD だけでなく、仮想音楽 CD も作成することができます。

CD/DVD/BD のライティング

CD 革命 /Virtual はライティングエンジンを搭載しており、本物の CD/DVD ドライブでの CD-R、DVD-R、BD-R への書き込みや、構築した仮想 CD のバックアップを行うことができます。

FCD JUKEBOX

FCD JUKEBOX は、仮想音楽 CD を直接再生することができる、仮想音楽 CD 専用のオーディオプレーヤーです。CD 革命 /Virtual のメイン画面に登録しておけば、仮想 CD ドライブにマウントすることなく仮想音楽 CD を再生することができます。インターネット環境があれば、CDDb サーバーからアーティストや曲名を取得することもできます。

Changelcon

コンピュータ（マイ コンピュータ）で表示される仮想 CD ドライブのアイコンを変更するツールです。

FCD Converter

CD 革命 /Virtual で構築する仮想 CD ファイル（拡張子が FCD のファイル）と ISO ファイルの変換を行うツールです。

CD 革命 /Virtual のメイン画面

CD 革命 /Virtual のメイン画面では、作成した仮想 CD のマウント・イジェクト・削除や、仮想ドライブの変更などの各操作を行うことができます。その他ツールの呼び出しもメイン画面から行います。

1 「メイン画面起動」を選択

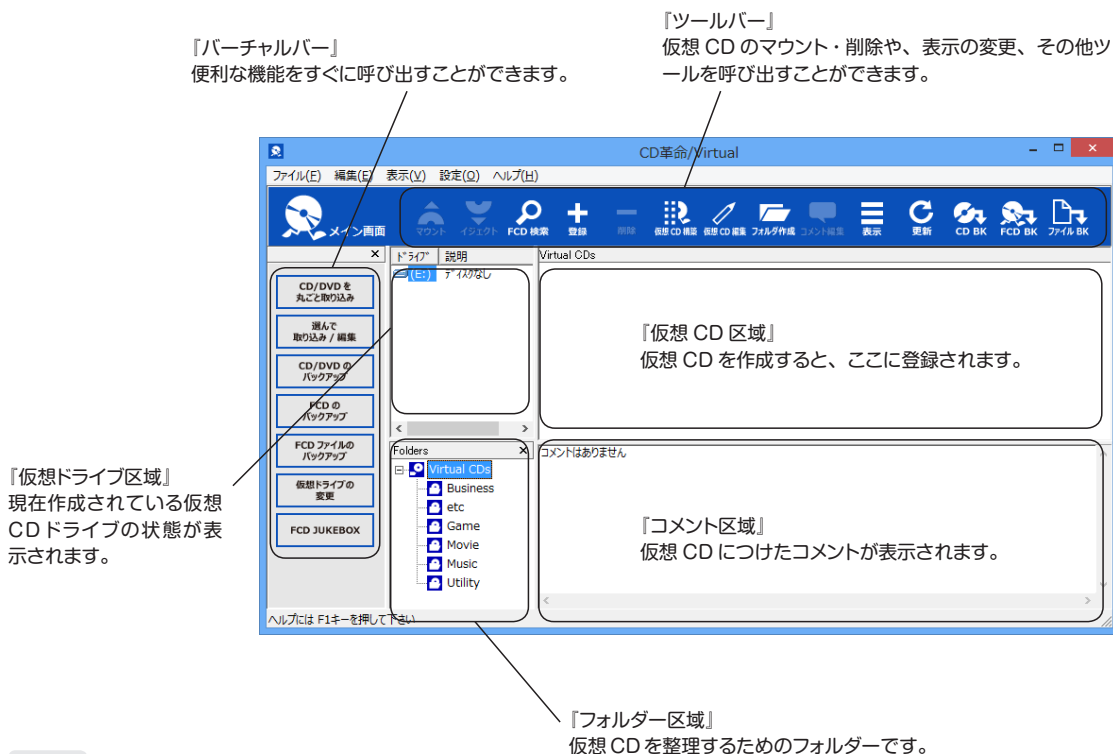
Ark ランチャーで「基本機能」→「メイン画面起動」を選択します。

2 CD 革命 /Virtual のメイン画面

下の CD 革命 /Virtual メイン画面が起動します。

Information

画面上のメニューや右クリックメニューでも各操作や機能を呼び出すことができます。

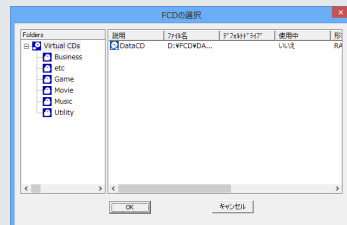
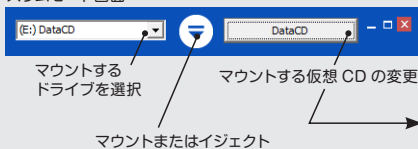


Point

スリムモード画面

メイン画面のメニューで「表示」→「スリムモード」と選択するとメイン画面が右のように変わります。このスリムモード画面でマウントとイジェクトを行うことができます。

スリムモード画面



仮想 CD を構築する（簡単構築）

「簡単構築」では保存先を指定するだけで簡単に仮想 CD の構築を行うことができます。
構築オプションの変更は途中ではできず、初期設定値に従って仮想 CD が構築されます。

1 メディアを挿入し、「仮想 CD の構築」を選択

ドライブに構築を行うメディアを挿入し、CD 革命 / Virtual のメイン画面で「仮想 CD の構築」をクリックします。



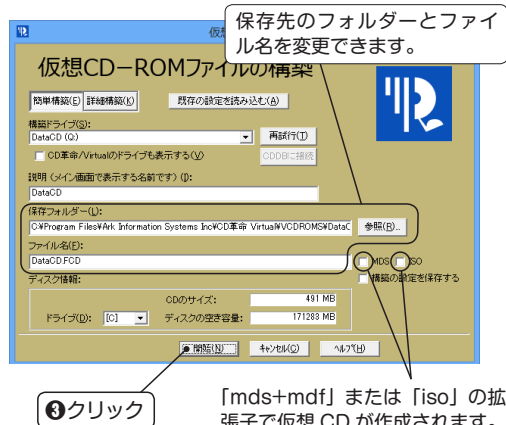
2 「簡単構築」を選択

「簡単構築」ボタンをクリックします（最初から選択されている場合はクリックの必要はありません）。



3 構築の開始

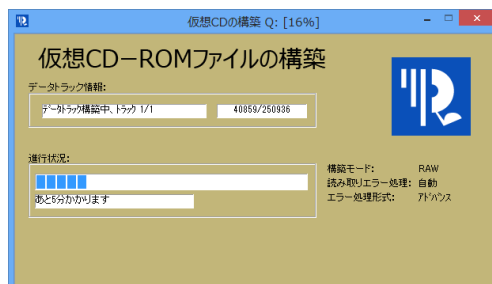
保存先フォルダーとファイル名を確認し、「開始」をクリックします。



「mds+mdf」または「iso」の拡張子で仮想 CD が作成されます。

4 構築の実行

構築中は進行状況が表示されます。



Information

構築時に表示される残り時間は概算の時間です。構築を行うメディアによっては、実際にかかる時間と異なることがあります。

5 構築の終了

構築終了後は結果が表示されます。



Point

音楽 CD や CD Extra など音楽トラックがある CD を構築する場合、初期設定では CDDb サーバーから情報を取得します。構築時に情報を取得しないようにするには、オプション設定（応用操作編－9）で「CDDb を利用する」のチェックをはずしてください。

仮想 CD を構築する（詳細構築）

「詳細構築」は圧縮などの構築オプションの設定を変更して仮想 CD を構築することができます。

1 メディアを挿入し、「仮想 CD の構築」を選択

ドライブに構築を行うメディアを挿入し、CD 革命 / Virtual のメイン画面で「仮想 CD の構築」をクリックします。



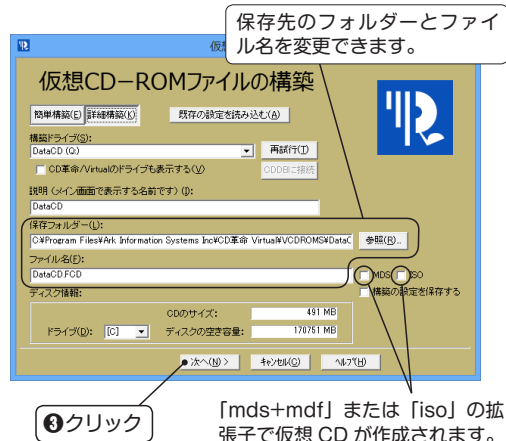
2 「詳細構築」を選択

「詳細構築」ボタンをクリックします。



3 構築の開始

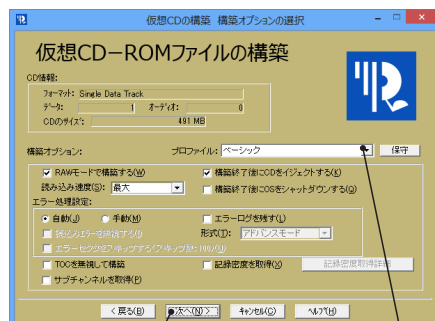
保存先フォルダーとファイル名を確認し、「次へ」をクリックします。



「mds+mdf」または「iso」の拡張子で仮想 CD が作成されます。

4 構築オプションの選択

メディアやドライブの特性に合わせて構築オプションを選択します。プロテクトがあらかじめわかっている場合はプロファイルの種類を選択します。



プロテクトの種類に応じてプロファイルを変更します。

Point

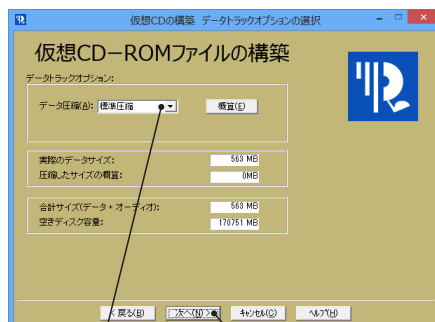
プロファイルを変更した場合、各オプションは自動的に設定されます。プロテクトがないメディアはプロファイルを変更する必要はありません。

Information

オプション設定値はメニューの「設定」→「構築オプション」で変更することができます。

5 データトラックオプションの選択

データ圧縮の種類を選択します。



6 選択

6 クリック

Information

前ページのデータトラックの選択画面で、「概算」をクリックして表示される圧縮後のファイルサイズは、実際のサイズと異なることがあります。

6 構築の実行

構築中は進行状況が表示されます。

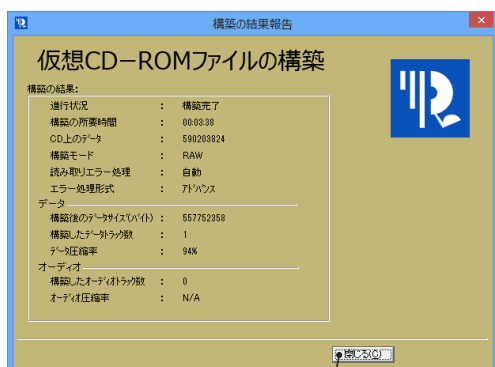


Information

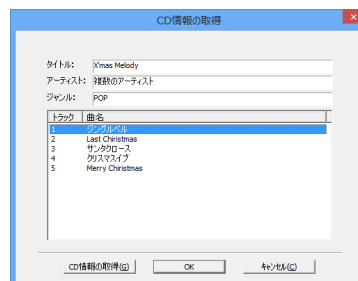
構築時に表示される残り時間は概算の時間です。構築を行うメディアによっては、実際にかかる時間と異なることがあります。

7 構築の終了

構築終了後は結果が表示されます。



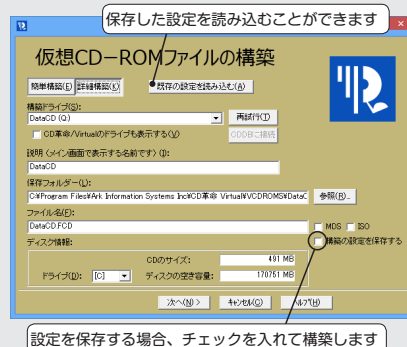
CDDDB サーバーから情報を取得した場合、タイトル名が仮想 CD の「説明」、「保存フォルダー」、「ファイル名」に入ります。タイトルによっては、Windows で使用できない文字が含まれていることがあります。この場合、仮想 CD の構築ができませんので、下の画面でタイトル名を変更するか、構築画面でフォルダー名、ファイル名を変更してください。



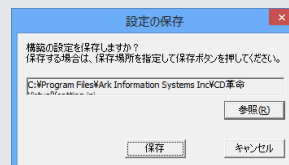
Point

構築の設定を保存する

仮想 CD の構築時の起動画面では、選択したフォルダーや構築オプションの設定を保存するためのチェックボックスがあります。今回の構築時の設定を保存する場合は、チェックボックスにチェックを入れて構築を行ってください。



構築開始時に設定ファイル（ファイル名は標準で「setting.ini」）の保存先を選択する画面が表示されます。次回の構築時に設定を読み込む場合は、「既存の設定を読み込む」ボタンをクリックして、ここで保存した設定ファイルを指定することで設定が変更されます。



仮想 CD をマウントする（挿入する）

構築した仮想 CD を使用するためには、仮想 CD を仮想 CD ドライブにマウントする（挿入する）必要があります。仮想 CD のマウント手順について説明します。

1 「仮想 CD」を選択

仮想 CD ドライブにマウントする仮想 CD を選択します。



2 「マウント」をクリック

「マウント」ボタンをクリックします。



Point

速度エミュレーション

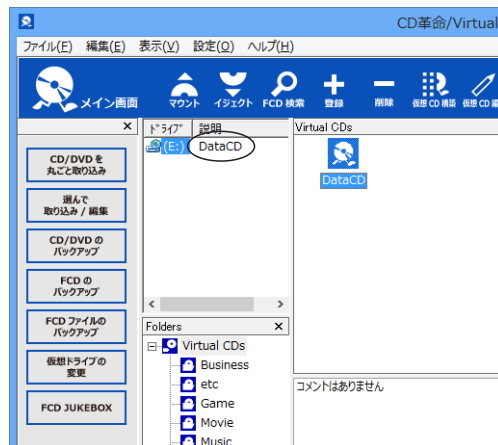
CD 革命 / Virtual のメイン画面で、「設定」→「速度エミュレーション」を選択すると、仮想 CD の読み込み速度を遅くして本物の CD と同等の読み込み速度にすることができます。ドライブからの読み込み速度を監視しているアプリケーションを使用する場合に有効です。ただし、インストールなども遅くなってしまいますので、アプリケーション起動時のみオプションを選択するようにしてください。

MDS 速度パラメーター

他社製ソフトウェアで作成した、記録密度情報が含まれる MDS ファイルを、マウントする際の速度を設定します。数値が小さいほど速度は遅くなります。

3 仮想 CD のマウント

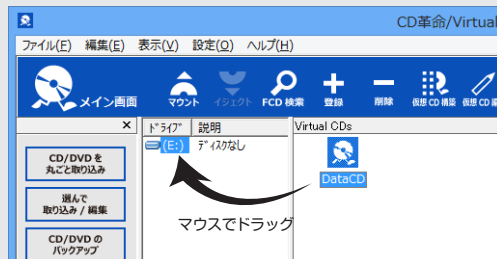
仮想 CD がマウントされると説明欄の「ディスクなし」の表示が仮想 CD の名前に変わります。



Point

アイコンをドラッグしてマウントする

仮想 CD のマウントは、メイン画面で仮想 CD のアイコンをマウント先のドライブにドラッグすることでも行うことができます。



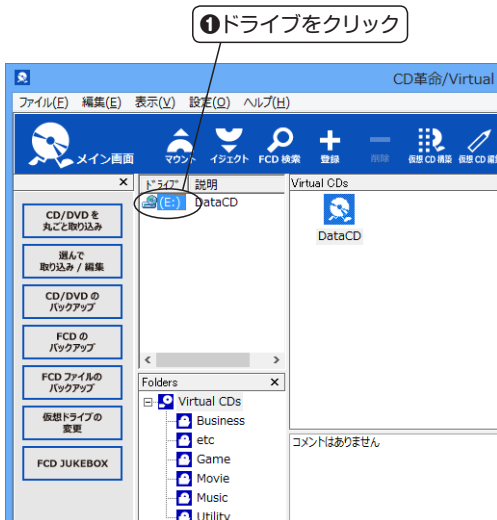
ネットワークドライブ、リムーバブルドライブにある仮想 CD ファイルをマウントしている場合は、Windows の再起動を行うとイジェクトされます。

仮想 CD をイジェクトする（取り出す）

マウントされている仮想 CD のイジェクト（取り出し）は、次の手順で行います。

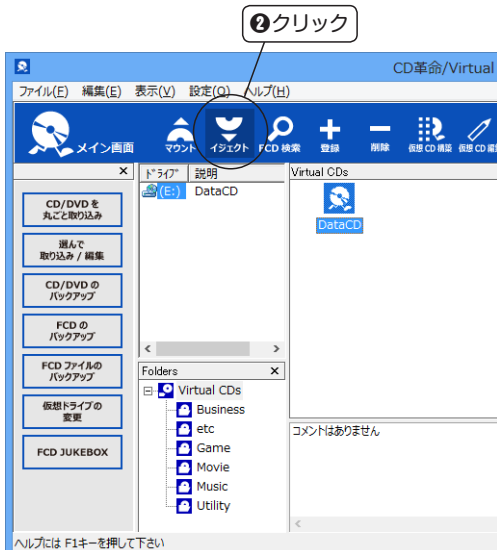
1 「仮想 CD ドライブ」を選択

イジェクトする仮想 CD ドライブを選択します。



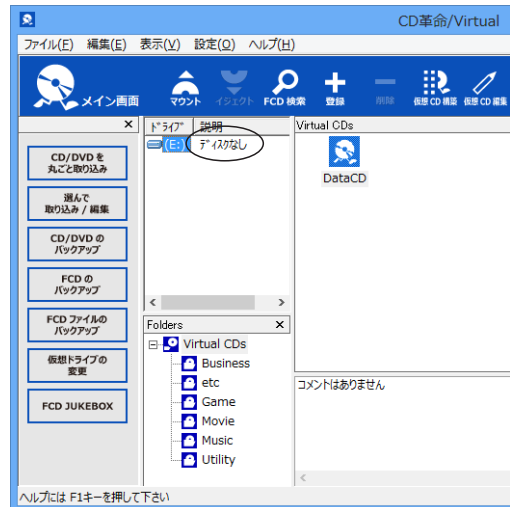
2 「イジェクト」をクリック

「イジェクト」ボタンをクリックします。



3 仮想 CD のイジェクト

仮想 CD がイジェクトされると説明欄が「ディスクなし」の表示になります。



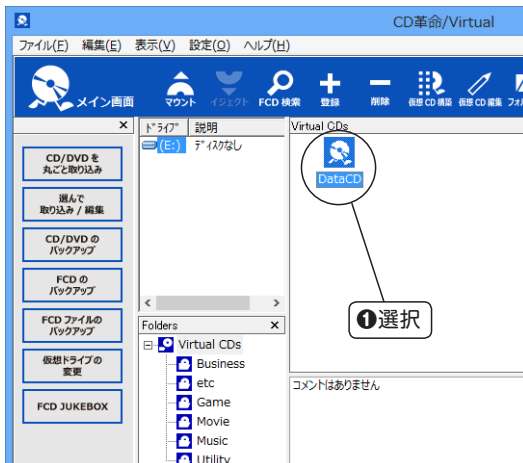
- 仮想 CD からデータを読み込み中にイジェクトをすると読み込みエラーが発生します。イジェクトは仮想 CD へアクセスしていない状態で行ってください。

仮想 CD を削除する

メイン画面に登録した仮想 CD の削除は、次の手順で行います。

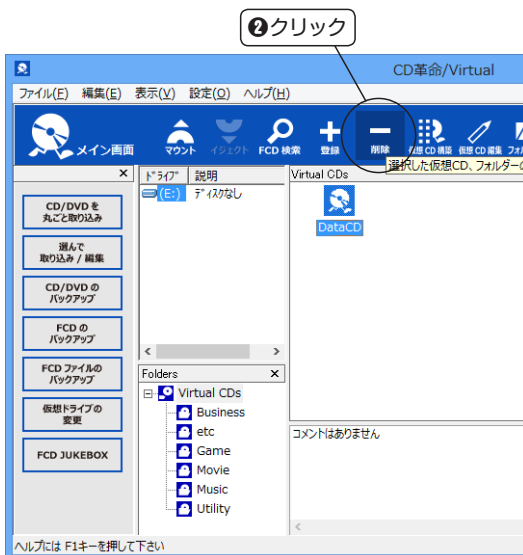
1 「仮想 CD」を選択

削除したい仮想 CD を選択します。



2 「削除」をクリック

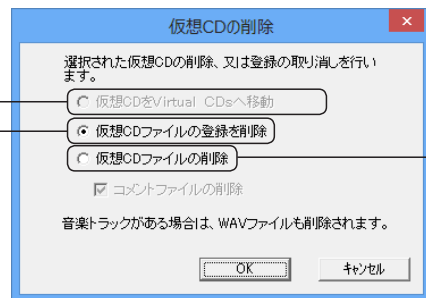
「削除」ボタンをクリックします。



3 削除方法を選択

仮想 CD の削除方法を選択します。

フォルダー区域のフォルダーの中の仮想 CD を削除する場合に選択できます。削除するフォルダー内に登録されていた仮想 CD を一番上の「Virtual CDs」に移動します。



仮想 CD の登録のみ削除します。実際に存在する仮想 CD ファイルは削除されません。

仮想 CD の登録と実際に存在する仮想 CD ファイルを削除します。コメントファイルも同時に削除する場合は、下のチェックボックスにチェックを入れます。



実際に存在する仮想 CD ファイルを削除してしまうと、元に戻すことはできません。選択した仮想 CD に間違いがないかを確認してから削除するようにしてください。

Point

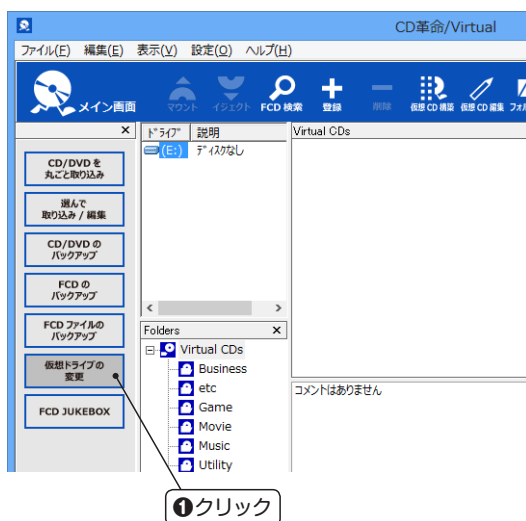
仮想 CD の再登録を行う場合は、仮想 CD の登録（応用操作編－7）の操作を行います。

仮想 CD ドライブの数を変更する

仮想 CD ドライブは必要な数だけ作成し、またその数を変更することができます。変更は仮想ドライブの変更画面から行います。

1 「仮想ドライブの変更」をクリック

「仮想ドライブの変更」ボタンをクリックします。

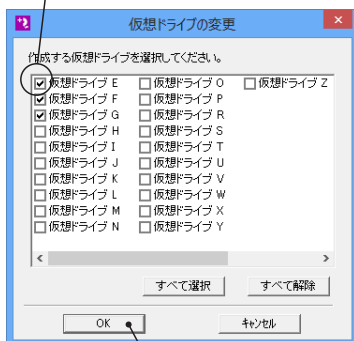


2 「仮想 CD ドライブ」を選択

作成する仮想 CD ドライブにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

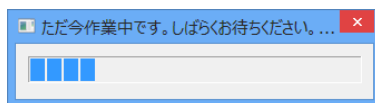
② 作成する仮想 CD ドライブをチェック

※削除する場合はチェックをはずします。



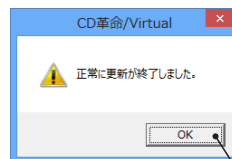
3 仮想 CD ドライブの変更

仮想 CD ドライブの変更中は、進行状況が表示されます。変更する仮想 CD ドライブの数が多いと時間がかかります。



4 変更の終了

「OK」をクリックすると仮想ドライブの変更を完了します。

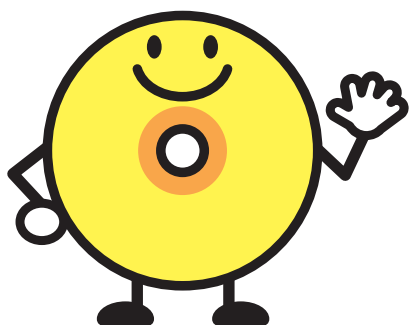


環境によっては、仮想 CD ドライブの変更後にコンピュータの再起動が必要です。メッセージが表示された場合は再起動を行ってください。



CD ドライブを使用するアプリケーション（ライティングソフトや DVD/BD 再生ソフトなど）がインストールされていると、仮想 CD ドライブも操作対象のドライブとして扱われることがあります。このような環境では、仮想 CD ドライブの数が多いと Windows が不安定になることがあります。問題が発生するような場合は、仮想 CD ドライブの数を少なくしてみてください。

応用操作編



ここでは、仮想 CD フォルダの利用、コメントやパスワード設定機能、その他、仮想 CD を便利にお使いいただくための応用的な操作方法について説明しています。

仮想 CD ドライブのドライブ文字を変更する

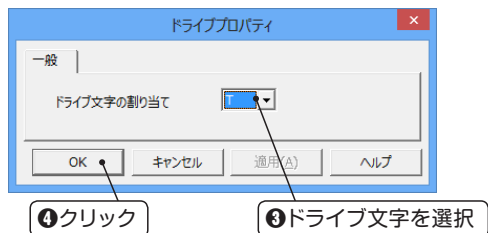
仮想 CD ドライブにはそれぞれにドライブ文字が割り当てられます。このドライブ文字として任意の文字を割り当てることができます。

メイン画面で変更する

ドライブ文字を変更する仮想 CD ドライブを右クリックし、メニューで「プロパティ」を選択します。



「ドライブプロパティ」画面でドライブ文字を選択します。



ドライブ文字について

Windows では、ハードディスクや CD ドライブに対して「A」～「Z」までのアルファベットが 1 文字割り当てられます。この文字をドライブ文字（ドライブレター）といいます。また、PC/AT 互換機では「A」「B」はフロッピーディスクドライブとされ、ハードディスクなどは「C」からはじまります。仮想 CD ドライブも同様にアルファベット 1 文字が割り当てられますので、CD 革命 /Virtual では、最大で 23 個の仮想 CD ドライブが作成できることになります。しかし、ドライブ文字は重複できませんので、ドライブ文字が全て割り当てられている環境に USB メモリーなどを接続するとドライブ文字が不足して認識がおかしくなることがあります。USB メモリーなどのリムーバブルドライブなどを使用する環境では、仮想 CD ドライブの数に注意してください。

Point

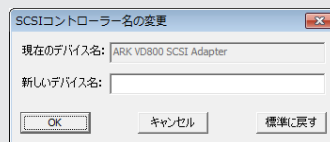
仮想 CD ドライブの名前を変更する

CD 革命 /Virtual のメイン画面で、「設定」→「デバイス名の変更」と選択すると次の画面が表示され、仮想 CD ドライブのデバイス名を変更することができます。新しいデバイス名には、メーカー名が半角 8 文字、型が半角 12 文字まで入力ができます。なお、デバイス名の変更を行うとドライブの再登録が行われるため、設定されていたドライブ文字が変更されます。

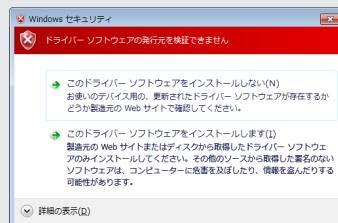


SCSI コントローラーの名前を変更する（Windows 8 では使用できません）

CD 革命 /Virtual のメイン画面で、「設定」→「コントローラー名の変更」と選択すると次の画面が表示され、仮想 SCSI コントローラー名を変更することができます。新しいコントローラー名には、半角で 64 文字まで入力できます。なお、コントローラー名の変更を行うとドライブの再登録が行われるため、複数の仮想 CD ドライブを作成していても、仮想 CD ドライブ数が 1 つの状態に戻ります。



SCSI コントローラー名の変更前に次の確認画面が表示されますので、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックしてから、OS の再起動のメッセージに従いコンピューターを再起動してください。





「ディスクの管理」画面



②変更したいドライブを右クリック

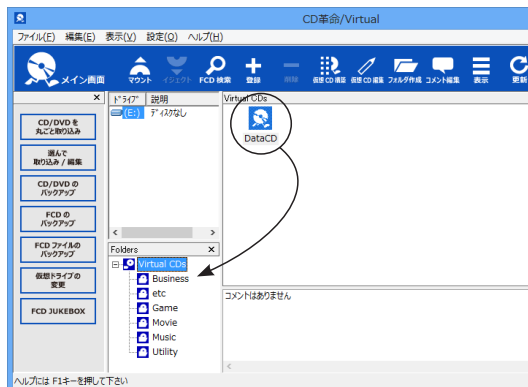


仮想 CD フォルダを利用する

CD 革命 /Virtual には、仮想 CD を整理するための仮想 CD フォルダがあります。このフォルダは、Windows のフォルダと同様に使用することができます。

仮想 CD の移動

仮想 CD をフォルダに移動するためには、仮想 CD のアイコンをフォルダ上にドラッグします。



Point

仮想 CD をどの仮想 CD フォルダに入れたのか、わからなくなった場合は、「FCD 検索」機能で検索することができます。

Information

仮想 CD フォルダは、メイン画面に登録された仮想 CD ファイルを管理するためのもので、実際には存在しません。また、仮想 CD を移動しても実際に存在する仮想 CD ファイルは移動されません。

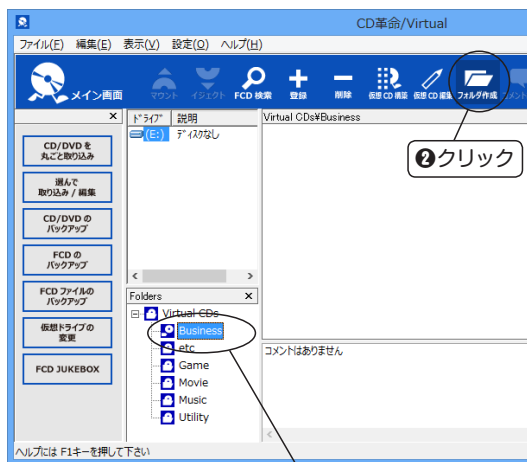


仮想 CD を構成するファイルについて

CD 革命 /Virtual でメイン画面に登録されている仮想 CD は、実際にはいくつかのファイルで構成されています。仮想 CD を構築するとハードディスクに拡張子が FCD の仮想 CD ファイルが作成されますが、それ以外にも「.1」や「.000」、「.sam」などの拡張子のファイルが存在します。CD 革命 /Virtual で仮想 CD として利用するには、作成されたファイルが全てそろっていなければなりません。作成先フォルダに存在するファイルは削除しないようにしてください。

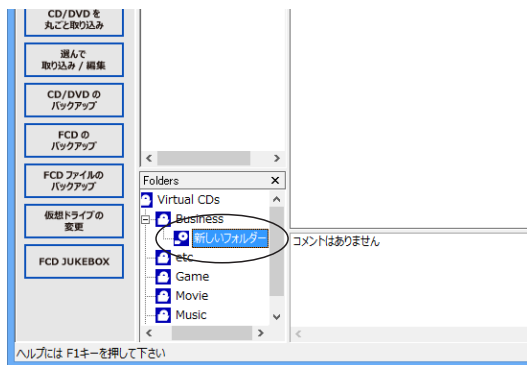
仮想 CD フォルダの作成

仮想 CD フォルダ区域でフォルダを選択し、「フォルダ作成」ボタンをクリックします。



① フォルダを選択

仮想 CD フォルダ区域に「新しいフォルダ」が作成されます。

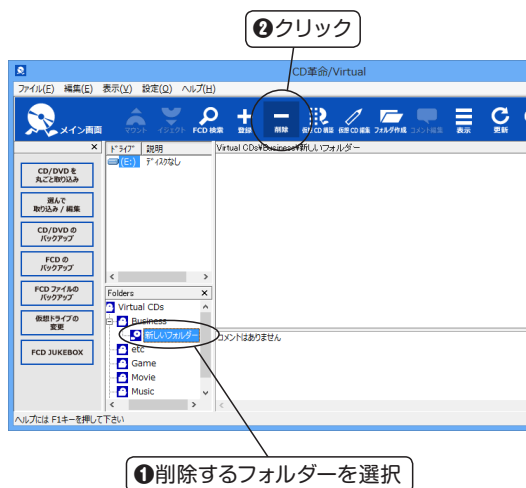


Information

仮想 CD フォルダは 5 階層まで作成できます。

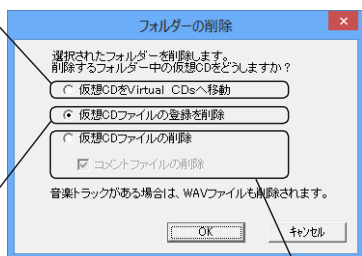
仮想 CD フォルダの削除

仮想 CD フォルダ区域で削除したいフォルダーを選択し、「削除」ボタンをクリックします。



削除するフォルダーの中にある仮想 CD をどのように扱うかを選択します。

仮想 CD を一番上の「Virtual CDs」フォルダーに移動します。



仮想 CD の登録を削除します。実際に存在する仮想 CD ファイル（コンテナファイル）は削除されません。

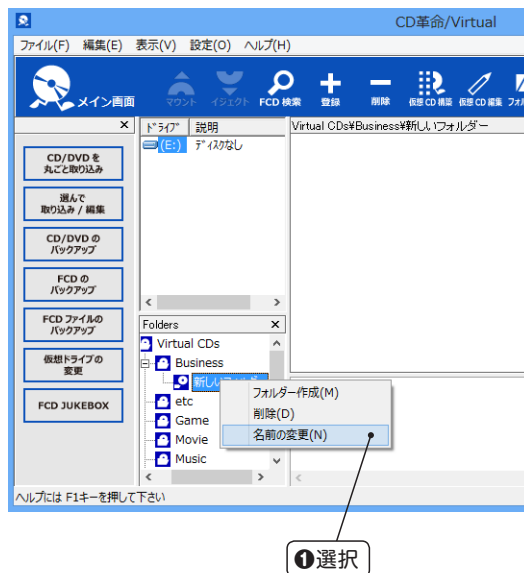
実際に存在する仮想 CD ファイル（コンテナファイル）を削除します。コメントファイルも同時に削除する場合は、下のチェックボックスにチェックを入れます。



実際に存在する仮想 CD ファイルを削除してしまうと、元に戻すことはできません。削除しても問題がないかをよく確認してください。

仮想 CD フォルダの名前の変更

仮想 CD フォルダ区域でフォルダーを選択して右クリックします。メニューから「名前の変更」を選択します。



Point

メイン画面の情報を保存する

CD 革命 /Virtual では、登録した仮想 CD、仮想 CD フォルダ、構築オプションなどの設定を保存し、再インストールを行った場合などに以前の状態に復元することができます。

登録情報の保存と復元は、メイン画面の「ファイル」メニューから行います。保存するファイルは拡張子が「.bac」のファイルとして保存されます。

なお、ドライブ構成、ログオンユーザー名、OS を変更した場合は、登録情報の復元はできません。



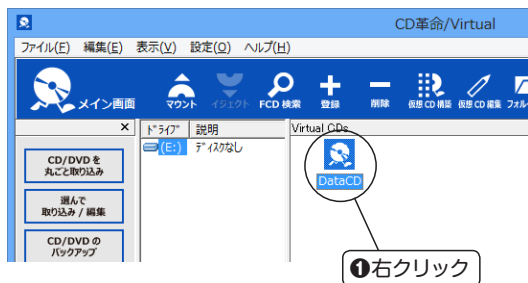
仮想 CD にコメントをつける

メイン画面に登録された仮想 CD には、コメントをつけることができます。

コメントには、その仮想 CD の内容やシリアル番号を記載するなどの利用方法があります。

1 仮想 CD を右クリック

コメントを作成したい仮想 CD を右クリックします。

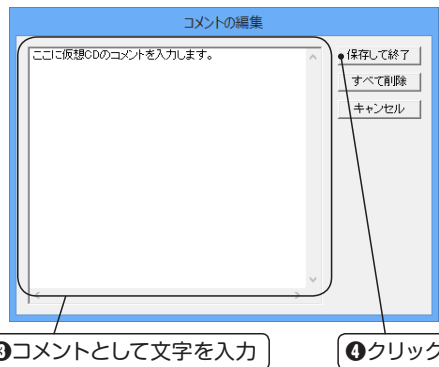


表示されたメニューで「コメントの編集」を選択します。

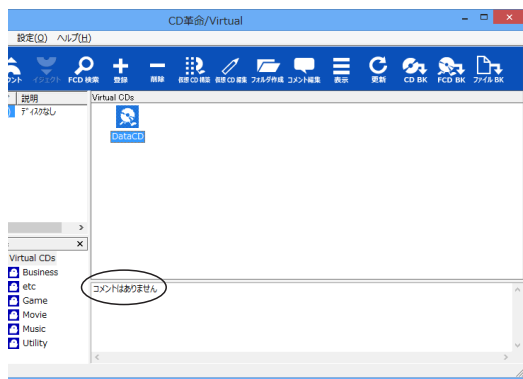


2 コメントを入力

コメントを入力します。最大で 3 万文字まで入力できます。



保存して終了すると、入力したコメントがメイン画面のコメント区域に表示されます。

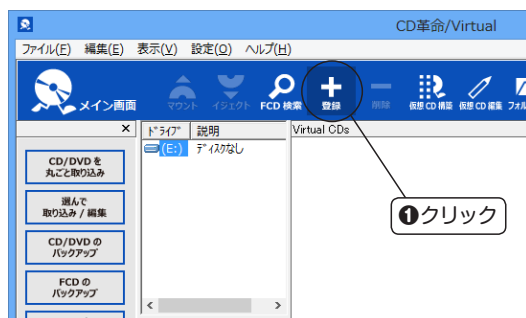


仮想 CD を登録する

CD 革命 /Virtual を再インストールした場合や、他のコンピュータで構築した仮想 CD を使用する場合は、メイン画面に登録することで利用可能となります。仮想 CD の登録は「登録」から行います。

1 「登録」をクリック

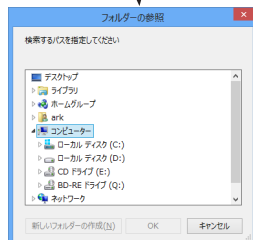
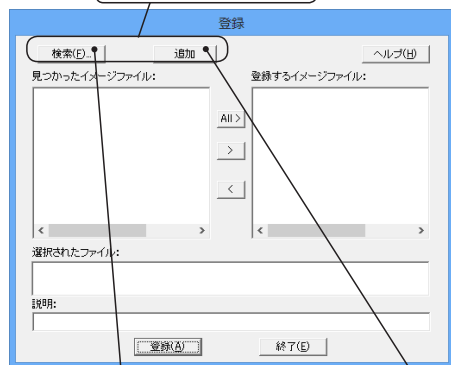
「登録」ボタンをクリックします。



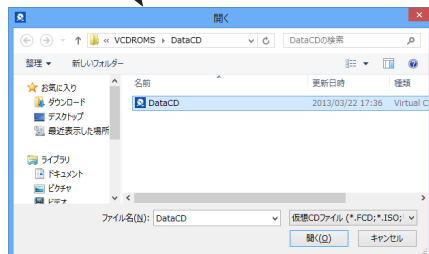
2 「検索」または「追加」をクリック

「検索」または「追加」ボタンをクリックしてファイルを追加します。

②どちらかをクリック



検索するフォルダーを指定します。登録するファイルを指定します。



3 登録するファイルの選択

登録するファイルを選択し、[All]>または、>をクリックして右側の「登録するイメージファイル：」に移動します。「登録」をクリックするとメイン画面に登録されます。

③ファイルを選択してクリック

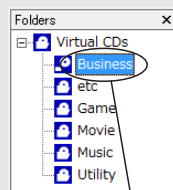


Information

ファイルは複数選択することが可能です。また、選択したファイルを右側にドラッグアンドドロップすることでも移動できます。

Point

「登録」ボタンをクリックする前に、メイン画面のフォルダー区域でフォルダーを選択しておくこと、検索、追加した仮想 CD はそのフォルダーの中に登録されます。



仮想 CD を登録したいフォルダーを選択した状態で「登録」をクリックします。

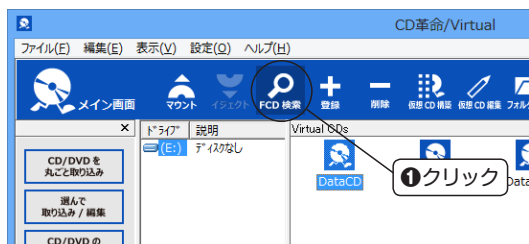
登録された仮想 CD を検索する

登録された仮想 CD の数が増えると、マウントしたい仮想 CD がどこにあるのかわからなくなってしまうことがあります。

FCD の検索機能を使うと、メイン画面に登録された仮想 CDの中から目的のものを検索し、仮想 CD ドライブにマウントすることができます。

1 「FCD 検索」をクリック

「FCD 検索」ボタンをクリックします。



2 検索条件を入力

検索する文字列を入力し、「検索」をクリックします。検索する場所は、仮想 CD の説明、ファイル名、コメントから選択します。



③ 検索する文字列を入力 ④ クリック

Point

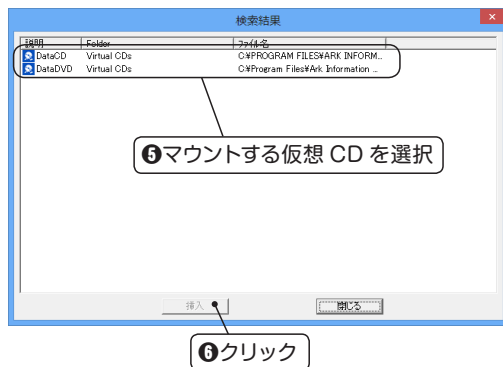
「説明」はメイン画面に登録されている仮想 CD の名前です。初期値は構築した CD/DVD のボリューム名となっています。仮想 CD を右クリック→「プロパティ」で変更することができます。



3 マウントするファイルの選択

仮想 CD ドライブにマウントしたい仮想 CD を選択し、「挿入」をクリックします。

マウントされる仮想 CD ドライブは、一番先頭のドライブとなります。



他社のイメージファイルの登録について

CD 革命 /Virtual では、他社製のイメージファイルを仮想 CD として使用できます。応用操作編 7 の「仮想 CD の登録」で登録をします。ただし、メディアのフォーマットやイメージを作成したソフトウェアによっては同じ拡張子であっても使用できないことがあります。

使用できるイメージファイルの拡張子と作成したソフトウェア

拡張子	作成したソフトウェア
ccd	CloneCD 3、4 ※1
cdi	Disc Juggler 3、4、5
nrg	nero 5.5、6 ※2
cue + bin	CDRWIN 4
cue + wav	EAC 0.99 prebeta3
iso ※3	Alcohol 52% ※3
mds	Alcohol 52%

※1 拡張子が img、sub、ccd の 3 つのファイルがそろっている必要があります。

※2 DVD のイメージは使用できません。

※3 分割された ISO ファイルは、「mds + iso」の形式であれば使用できます。

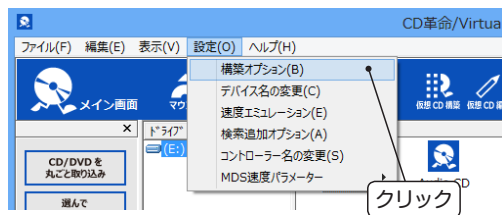
仮想 CD 構築オプションを設定する

仮想 CD を構築する際の「構築オプション」を設定します。

ここで設定した内容で仮想 CD の構築が行われます。「詳細構築」を選択した場合は、仮想 CD 構築時のオプション設定にも反映されます。

1 「構築オプション」を選択

メイン画面で、「設定」→「構築オプション」と選択します。



●構築オプション

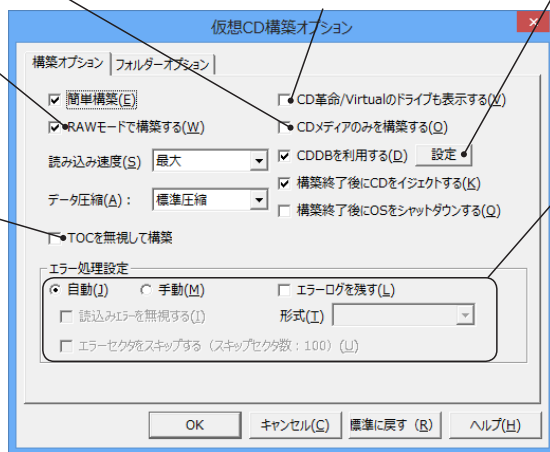
仮想 CD を構築する際のオプションを設定します。

仮想 CD の構築時にメディアのサイズが正しく表示されないドライブで選択します。

ISO フォーマットの仮想 CD が仮想 CD ドライブにマウントされているとき、その仮想 CD ドライブが構築ドライブとして表示されます。

ISO フォーマットの CD を RAW モードで構築します。ISO フォーマット以外は選択できません。

CD に記録されたサイズなどの情報 (TOC 情報) を使用せずに構築します。正常に構築ができないドライブもありますので、問題が発生する場合は使用しないでください。

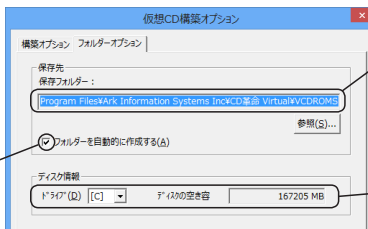


読み込みエラーが発生した場合の処理方法を設定します。「手動」にした場合は、エラー処理の方法を選択します。読み込みが遅い場合は、形式でモードを変更すると改善される場合があります。

●フォルダーオプション

仮想 CD ファイルの保存先を指定します。

「保存フォルダー」で指定したフォルダーにファイル名と同じ名前のフォルダーを作成します。



仮想 CD の保存先とするフォルダーを指定します。

ドライブの空き容量を確認できます。

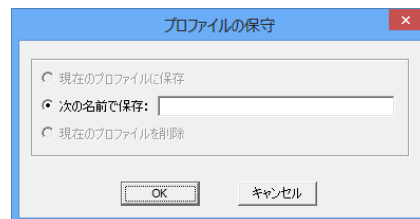
詳細構築時のオプションを設定する

仮想 CD の詳細構築を行うとき、メディアやドライブの特性に合わせて構築オプションを選択することができます。

1 詳細構築オプションの選択画面

『仮想 CD を構築する（詳細構築）』（基本操作編-5 ページ）の **1** から **4** の操作を行います。

プロファイルの内容の変更や新規作成を行うことができます。
既存のプロファイルを変更、削除する場合は、「保守」ボタンをクリックする前にプロファイルを選択してください。



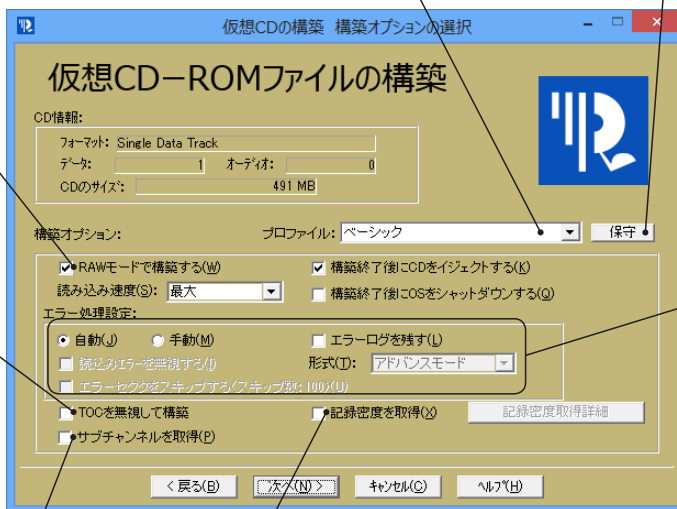
いくつかのプロテクト用のプロファイルが用意されています。プロテクト名がわかる場合は、プロファイルを選択します。プロテクトがない場合は、ベーシックのまま構築を行ってください。

ISO フォーマットの CD を RAW モードで構築します。ISO フォーマット以外は選択できません。

CD に記録されたサイズなどの情報（TOC 情報）を使用せずに構築します。正常に構築ができないドライブもありますので、問題が発生する場合は使用しないでください。

サブチャンネルを利用したプロテクト CD を構築する場合に使用します。

記録密度を利用したプロテクト CD/DVD を構築する場合に使用します。



読み込みエラーが発生した場合の処理方法を設定します。「手動」にした場合は、エラー処理の方法を選択します。読み込みが遅い場合は、形式でモードを変更すると改善される場合があります。

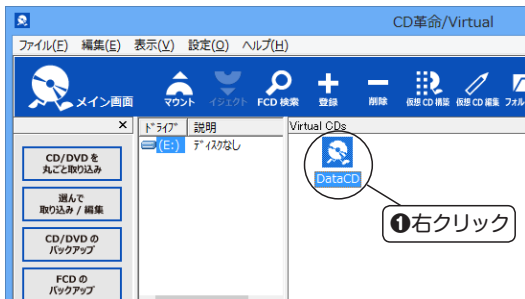
仮想 CD にパスワードを設定する

メイン画面に登録された仮想 CD には、パスワードを設定することができます。

パスワードを設定することで、仮想ドライブにマウントするユーザーを制限することができます。

1 仮想 CD を選択

パスワードを設定したい仮想 CD を右クリックします。

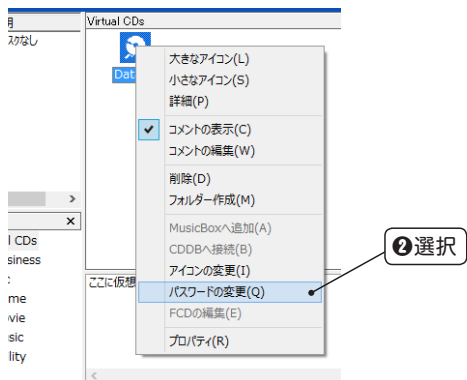


Information

パスワードは CD 革命 /Virtual で構築した仮想 CD にしか設定できません。

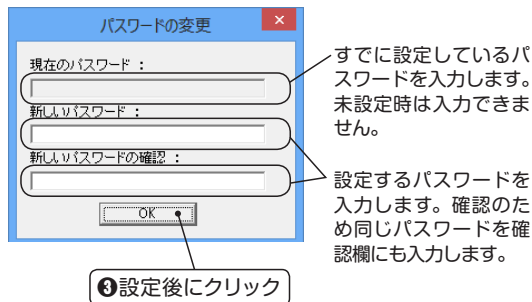
2 「パスワードの変更」を選択

表示されたメニューで「パスワードの変更」を選択します。



3 パスワードを入力

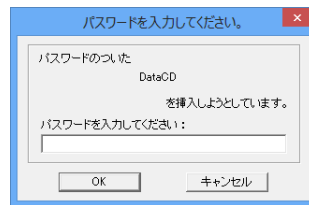
パスワード変更画面でパスワードを入力します。



パスワードを忘れてしまうと仮想 CD ドライブにマウントできなくなります。

Information

パスワードが設定されている場合は、仮想 CD のマウント時に次の画面が表示されます。設定したパスワードを入力します。



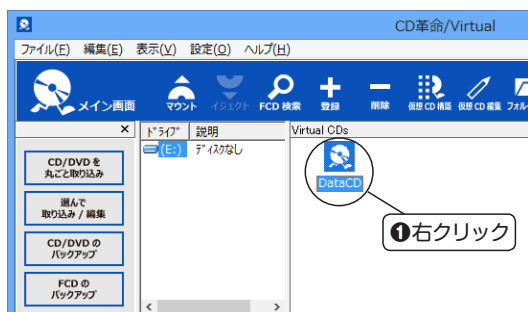
仮想 CD のアイコンを変更する

メイン画面に登録された仮想 CD は、構築したメディアのアイコンが表示されます。アイコンがない場合は、CD 革命 /Virtual の標準のアイコンとなります。

表示されている仮想 CD のアイコンを変更することができます。

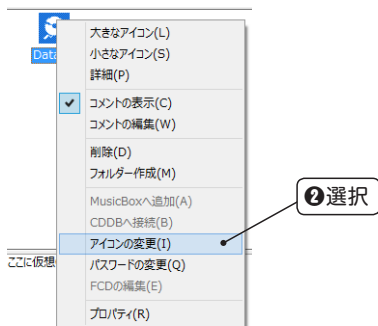
1 仮想 CD を選択

アイコンを変更したい仮想 CD を右クリックします。



2 「アイコンの変更」を選択

表示されたメニューで「アイコンの変更」を選択します。

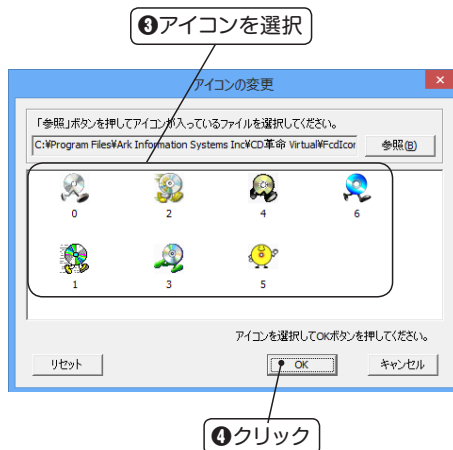


Point

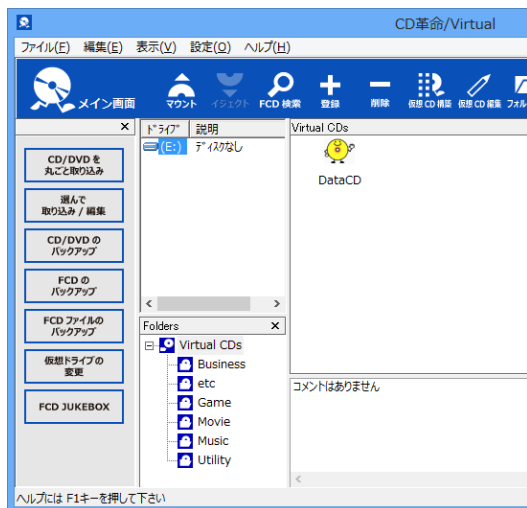
アイコンの変更は、アイコン情報を含むファイル (.dll, .ico, .exe) のアイコンを指定することによって行うこともできます。

3 アイコンを選択

アイコンを選択します。



メイン画面のアイコンが変更されます。

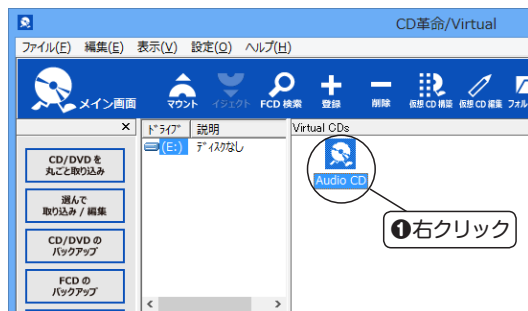


CDDB から CD 情報を取得する

音楽トラックをもつ仮想 CD の情報を CDDB サーバーから取得し、その内容をコメントとして保存することができます。

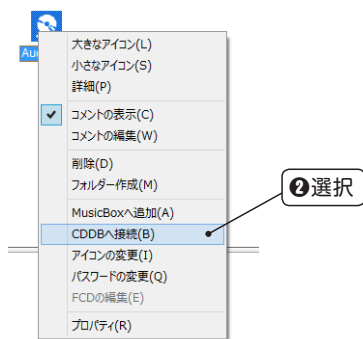
1 仮想 CD を選択

CDDB サーバーから情報を取得する仮想 CD を右クリックします。



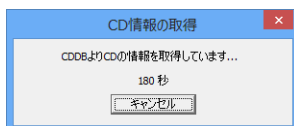
2 「CDDB へ接続」を選択

表示されたメニューで「CDDB へ接続」を選択します。



3 CD 情報の取得

CDDB サーバーに接続し、CD の情報を取得します。この作業は数分かかる場合もあります。



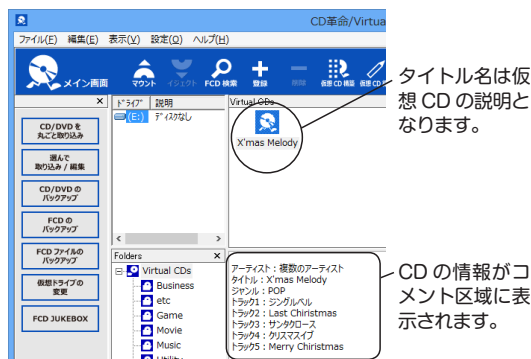
4 CD 情報の表示

CDDB サーバーから取得した曲名などの情報は、次の画面に表示されます。内容は変更することができます。



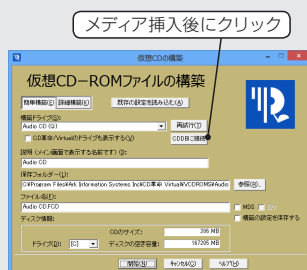
5 コメント区域に表示

仮想 CD のコメント区域に取得した CD の情報が表示されます。



Point

仮想 CD の構築時にも CDDB サーバーから情報を取得することができます。取得した情報は、構築終了時にコメントとして保存されます。



ホットキーで仮想 CD を入れ替える

CD 革命 /Virtual は、メイン画面で「Ctrl」＋「Shift」＋「仮想 CD がマウントされているドライブ文字」の3つのキーを同時に押すことで、仮想 CD ドライブにマウントされている仮想 CD を入れ替えることができます。このキーをホットキーといいます。

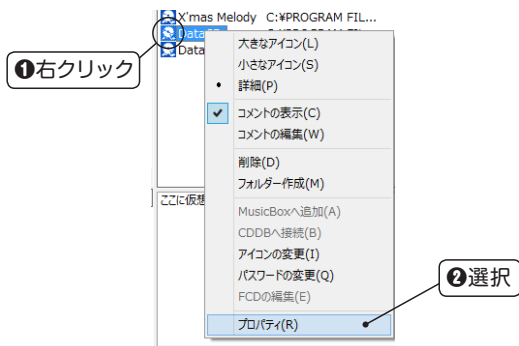
ホットキーによる操作は次の条件のもとで可能となります。

- ①メイン画面が起動されている（最小化されていてもよい）
- ②対象の仮想 CD すべてが、同じデフォルトドライブに設定されている
- ③対象の仮想 CD すべてが、同じ仮想 CD フォルダー内にある
- ④デフォルトドライブを設定したいすれかの仮想 CD がマウントされている

1 プロパティの選択

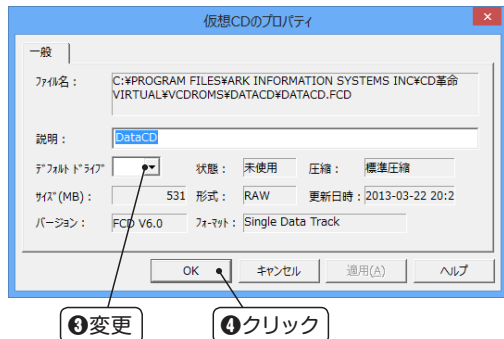
ホットキーで入れ替える仮想 CD にデフォルトドライブの設定をします。

仮想 CD を右クリックし、プロパティを選択します。



2 デフォルトドライブの設定

デフォルトドライブを設定します。

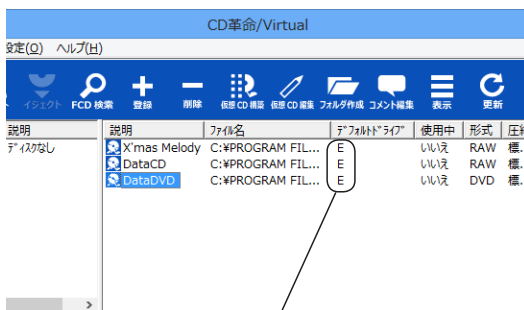


Information

ホットキーで入れ替えたい仮想 CD すべてに同じデフォルトドライブを設定します。

3 ホットキーによる入れ替え

デフォルトドライブを設定した仮想 CD がマウントされた状態で「Ctrl」＋「Shift」＋「デフォルトドライブの文字」の3つのキーを押すことで入れ替えが可能となります。



デフォルトドライブの確認

Point

デフォルトドライブとは

デフォルトドライブとは、メイン画面で仮想 CD を優先的にマウントするドライブのことです。構築後（登録後）にデフォルトドライブはついていませんが、仮想 CD ドライブをマウントすると、最初にマウントしたドライブ文字が自動的に割り当てられます。メイン画面で仮想 CD のアイコンをダブルクリックすることで、デフォルトドライブで設定されている仮想 CD ドライブにマウントすることができます。

CD をバックアップする

CD や DVD をそのまま CD/DVD-R にバックアップすることができます。

1 「CD BK」を選択

CD 革命 /Virtual のメイン画面で「CD BK」をクリックして CD のバックアップ画面を開きます。



2 バックアップ元 (送り側) ドライブを指定

CD のバックアップ画面が表示されます。バックアップするメディアを挿入し、送り側のドライブを指定します。

ハードディスクにイメージを作成せずにバックアップが行われます。



バックアップするメディア 1 枚分の空き容量が必要です。

Information

「送り側ドライブの選択」画面のオプションについて
「オンザフライ方法でバックアップ」を行う場合、転送速度不足などでエラーとなることがあります。エラーになった場合は、チェックをはずしてバックアップしてください。

3 バックアップ先 (受け側) ドライブを指定

バックアップ先となるドライブを指定します。



メディアとドライブに合った速度を指定します。

通常はチェックを入れる必要はありませんが、必要に応じてバックアップするメディアやドライブの特性に合わせてオプションを選択します。



書き込み速度が速すぎると書き込みエラーが発生することがあります。

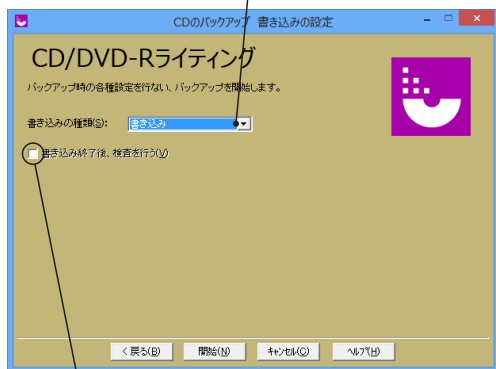
Information

「受け側ドライブの選択」画面のオプションについて
バックアップ先 (受け側) ドライブの選択時のオプションは、特殊なメディアやプロテクトがないメディアではチェックを入れる必要はありません。また、対応していないドライブではオプションが有効になりません (効果がありません)。チェックを入れることで正しく書き込みができなくなるドライブもありますので、そのような場合はチェックをいれずにバックアップを行ってください。
各オプションの説明は付録の用語の解説をご覧ください。

4 書き込みの設定

書き込みの種類を指定します。

⑥書き込みの種類を選択



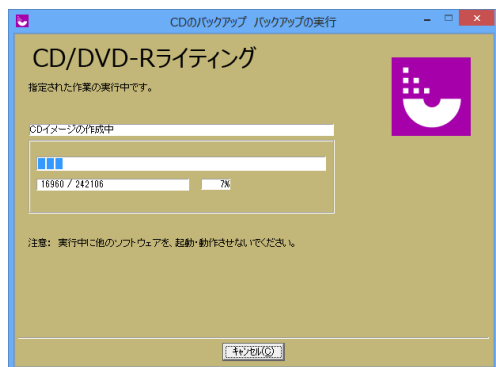
検査をする場合はチェックします。



.....
ドライブによってはテストができない（実際に書き込まれてしまう）ことがあります。また、DVD+R/RW に書き込む場合、テストはできません。
.....

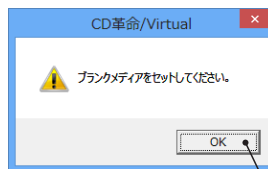
5 書き込みの実行

進行状況が表示されます。



.....
書き込み中はほかのソフトウェアを起動・動作させないでください。
.....

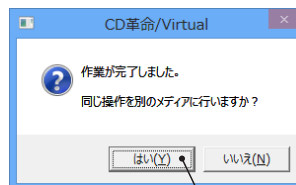
ドライブが1台の場合は、イメージ作成後にブランクメディアに入れ替えて「OK」をクリックします。



⑦ブランクメディアに入れ替えてクリック

6 書き込みの終了

書き込みが終了するとメッセージが表示されます。同じCDの書き込みを行う場合は、別のブランクメディアを挿入して「はい」をクリックします。



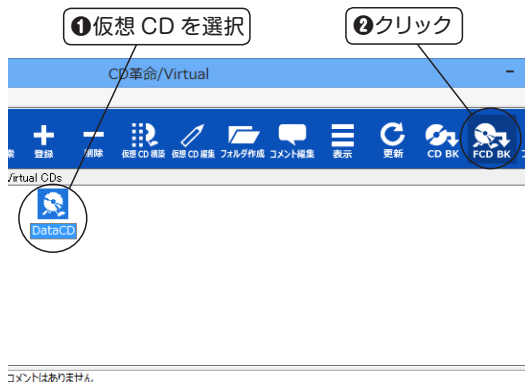
⑧同じCDをメディアに書き込む場合にクリック

仮想 CD をメディアに書き込む (FCD のバックアップ)

ハードディスクに保存した仮想 CD ファイルを CD/DVD メディアに書き込みます。

1 「FCD BK」を選択

CD 革命 / Virtual のメイン画面で、メディアに書き込みたい仮想 CD を選択し、「FCD BK」をクリックします。



2 書き込みドライブを選択

ブランクメディアを挿入し、書き込みドライブを選択します。

メディアとドライブに合った速度を指定します。



元となる仮想 CD ファイル (コンテナファイル) の情報が表示されます。

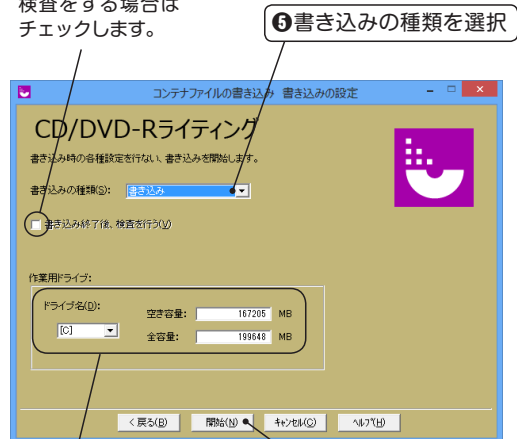


書き込み速度が速すぎると書き込みエラーが発生することがあります。

3 書き込みの設定

書き込みの種類を指定します。

検査をする場合はチェックします。



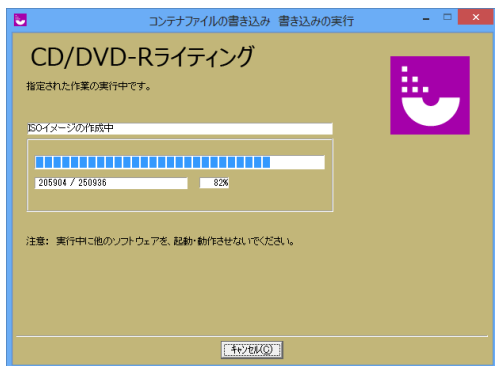
メディア 1 枚分の空き容量が必要です。



ドライブによってはテストができない (実際に書き込まれてしまう) ことがあります。また、DVD+R/RW に書き込む場合、テストはできません。

4 書き込みの実行

進行状況が表示されます。メディアに書き込む前に ISO ファイルへの変換が行われます。



- ⚠
- 書き込み中はほかのソフトウェアを起動・動作させないでください。

Point

作業用ドライブとは

CD 革命 /Virtual のライティング機能では、CD/DVD/BD メディアに書き込む前に、一時的にハードディスクに作業用のファイルを作成します。このファイルを作成するドライブを作業用ドライブといいます。

作成されるファイルは、書き込み先メディア 1 枚分となり、各メディアの必要な空き容量は以下ようになります。なお、4GB 以上のメディアをバックアップする場合、ファイルを作成するために NTFS ファイルシステムのドライブが必要です (FAT32 ファイルシステムは 4GB 以上のファイルを作成できないため)。

作業用ドライブの容量が不足していると書き込みができないので、十分な空き容量があるドライブを指定してください。

・ 参考: 必要なハードディスクの空き容量

CD-R/RW : 650MB/700MB

DVD±R/RW : 4GB

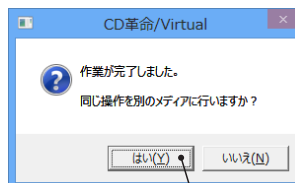
DVD±R DL : 8GB

BD-R/RE : 25GB

BD-R/RE DL : 50GB

5 書き込みの終了

書き込みが終了するとメッセージが表示されます。同じ仮想 CD の書き込みを行う場合は、別のブランクメディアを挿入して「はい」をクリックします。



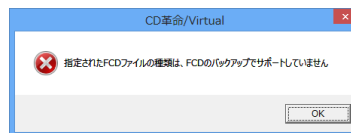
① 同じ仮想 CD をメディアに書き込む場合にクリック

Information

「FCD のバックアップ」では、CD 革命 /Virtual で構築した仮想 CD (拡張子が「.fcd」) のほかに、拡張子が「.iso」のファイルも書き込むことができます。

書き込みには制限事項がありますので、最初に導入編-8～9の注意事項をご覧ください。

書き込みができない場合は、次のメッセージが表示されます。



仮想 CD ファイルをバックアップする (FCD ファイルのバックアップ)

ハードディスクに保存した仮想 CD ファイル（コンテナファイル）を、イメージファイルのまま CD/DVD にバックアップします。

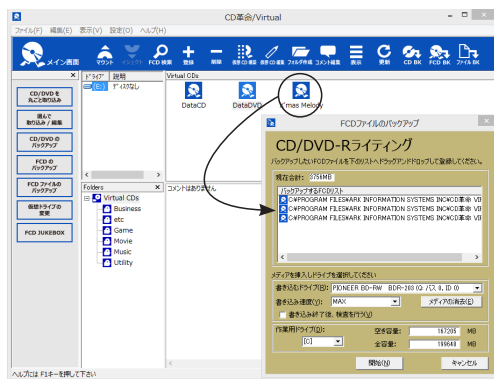
1 「ファイル BK」を選択

CD 革命 /Virtual のメイン画面で、「ファイル BK」をクリックします。



2 仮想 CD ファイルの選択

バックアップする仮想 CD を選択し、バックアップする FCD リスト欄にドラッグアンドドロップして追加します。



Information

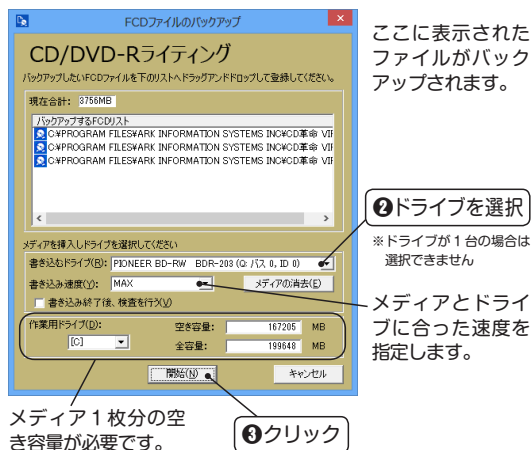
コンテナファイル（FCD ファイル）以外に、対応している他社製イメージファイルも登録することができます。



書き込み中はほかのソフトウェアを起動・動作させないでください。

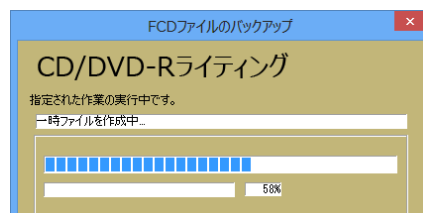
3 書き込みドライブを選択

書き込みドライブを選択します。



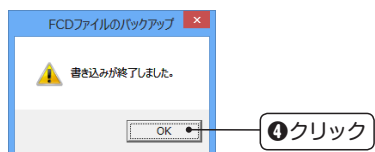
4 書き込みの実行

進行状況が表示されます。メディアに書き込む前に一時的にハードディスクに書き込みを行います。



5 書き込みの終了

書き込みが終了するとメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると書き込みが終了します。



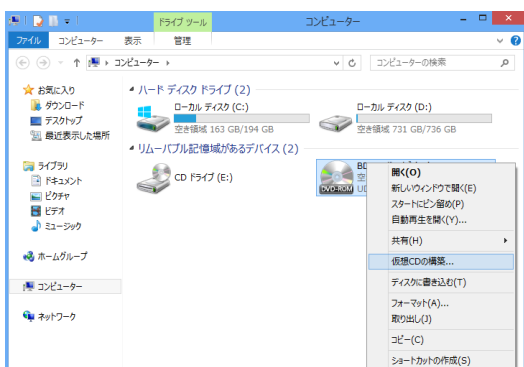
コンピュータ／エクスプローラから仮想 CD を操作する

仮想 CD の構築やマウントは、メイン画面以外に Windows の「コンピュータ（マイコンピュータ）」や「エクスプローラ」からも行うことができます。

仮想 CD の構築（本物の CD からの構築）

構築する CD をドライブに挿入し、「コンピュータ（マイコンピュータ）」または「エクスプローラ」で、そのドライブのアイコンを右クリックします。

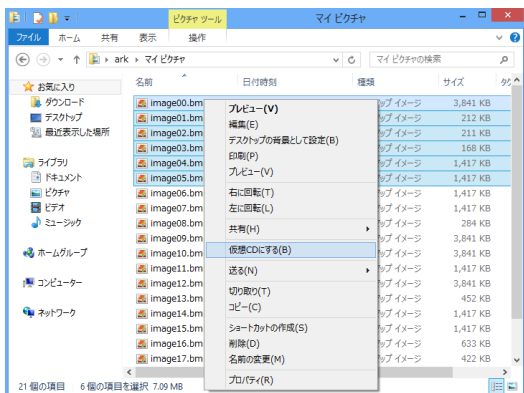
表示されるメニューで「仮想 CD の構築」を選択すると構築画面が表示されます。



仮想 CD の構築（ファイル、フォルダーからの構築）

「コンピュータ（マイコンピュータ）」または「エクスプローラ」で、仮想 CD として構築したいファイル、フォルダーを選択し右クリックします。

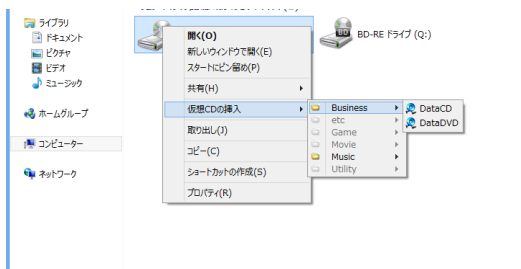
表示されるメニューで「仮想 CD にする」を選択すると構築画面が表示されます。



仮想 CD のマウント（挿入）

「コンピュータ（マイコンピュータ）」または「エクスプローラ」で、仮想 CD ドライブのアイコンを右クリックします。

表示されるメニューで「仮想 CD の挿入」を選択すると仮想 CD フォルダーと仮想 CD が表示され、指定した仮想 CD をマウント（挿入）できます。



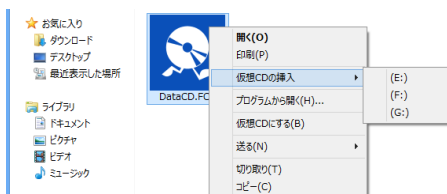
仮想 CD のイジェクト（取り出し）

仮想 CD の挿入と同じメニューの中で、「取り出し」を選択すると、マウントされている仮想 CD がイジェクトされます。

仮想 CD の挿入（仮想 CD ファイルを選択）

「コンピュータ（マイコンピュータ）」または「エクスプローラ」で、構築した仮想 CD ファイルを右クリックします。

表示されるメニューで「仮想 CD の挿入」を選択すると、現在作成されている仮想 CD ドライブが表示され、指定したドライブにマウント（挿入）することができます。



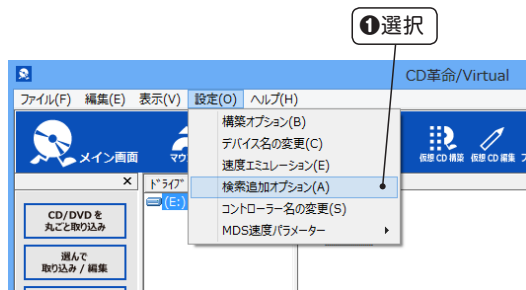
指定したフォルダーの仮想 CD ファイルを起動時に追加する

CD 革命 /Virtual のメイン画面を起動するときに、あらかじめ指定したフォルダーにある仮想 CD を検索し、自動的に登録することができます。検索対象のフォルダーとして、ネットワークドライブ（LAN ディスク）の共有フォルダーを指定することもできます。

ここでは、アイオーデータ機器社の LANDISK に作成されたフォルダーを例として説明しています。

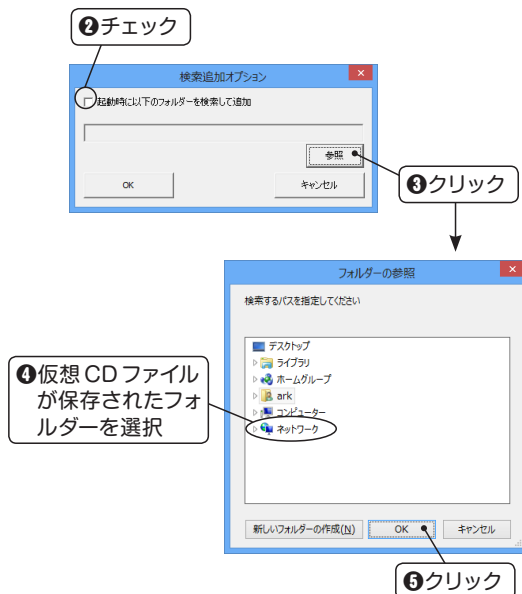
1 「検索追加オプション」を選択

CD 革命 /Virtual のメイン画面で、「設定」→「検索追加オプション」を選択します。



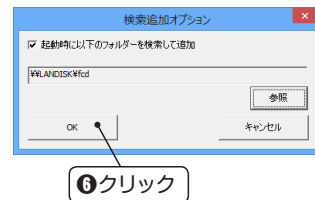
2 フォルダーの選択

「起動時に以下のフォルダーを検索して追加」にチェックを入れ、「参照」をクリックしてフォルダーを選択します。



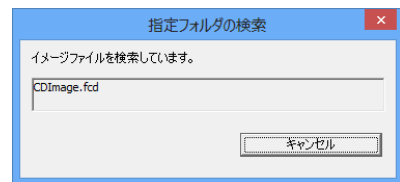
3 フォルダーの確認

フォルダーの選択が正しいことを確認し、「OK」をクリックします。



4 CD 革命 /Virtual のメイン画面を起動

CD 革命 /Virtual のメイン画面を起動するときに、検索追加オプションでフォルダーが指定されていると、指定フォルダーを検索して自動的に仮想 CD が登録されます。



指定したフォルダーにある仮想 CD ファイルの数が多いと検索追加に時間がかかるため、メイン画面の起動が通常よりも遅くなります。

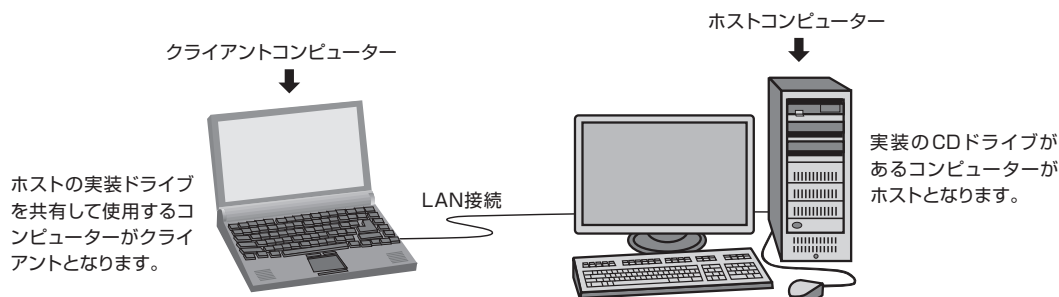
Point

ネットワークドライブを指定する場合、仮想 CD が保存されているドライブに対し、CD 革命 /Virtual がインストールされたコンピューターから接続可能な状態でなければなりません。違うワークグループのコンピューター（LANDISK）や、ファイアウォール、アクセス権によっては接続できないことがあります。

別のコンピューターの CD ドライブを共有する

CD 革命 /Virtual には、ネットワーク接続された別のコンピューターの CD ドライブを共有する「光ディスクドライブ共有機能」があります。この機能を使用することで、CD ドライブが存在しないコンピューターが実装ドライブを共有し、CD/DVD メディアを読み込むことができるようになります。

「光ディスクドライブ共有機能」を使用するには、ホストコンピューター（実装の CD ドライブが存在するコンピューター）とクライアントコンピューター（ホストコンピューターの実装 CD ドライブを使用するコンピューター）の 2 台のコンピューターが必要です。



① クライアントコンピューターに「光ディスクドライブ共有ツール」をインストール

1

製品 CD の挿入

クライアントコンピューター（ホストの実装 CD ドライブを共有するコンピューター）のドライブに CD 革命 /Virtual の製品 CD を挿入します。

Point

CD ドライブのないクライアントコンピューターの場合クライアントコンピューターに CD ドライブがない環境の場合は、次のような方法でセットアップ画面を起動してインストールを行うことができます。

▶ホストとするコンピューターに CD 革命 /Virtual の製品 CD を挿入します。製品 CD を挿入した CD ドライブをネットワークで共有し、クライアントコンピューターからその共有ドライブを参照します。「Autorun.exe」を実行するとセットアップ画面が起動します。

▶ホストとするコンピューターに USB メモリーや USB ハードディスクなどのディスクを接続し、CD 革命 /Virtual の製品 CD のファイル、フォルダーをすべてコピーします。コピーした USB メモリーやディスクをクライアントコンピューターに接続し、「Autorun.exe」を実行するとセットアップ画面が起動します。

2

インストールの開始

「光ディスクドライブ共有機能」をクリックします。その後、メッセージに従ってインストールし、インストール後はコンピューターを再起動します。

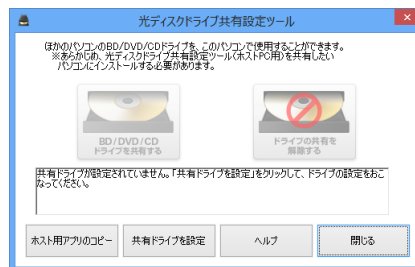


① クリック

3 設定ツールを起動

デスクトップに作成された「光ディスクドライブ共有設定ツール」のアイコンをダブルクリックすると、右の画面が表示されます。

ホスト用アプリのコピーおよびドライブ共有設定はこの画面から行います。



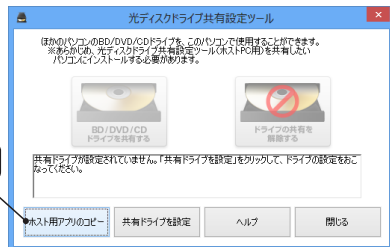
②ホストコンピューターにホスト用アプリをインストール

光ディスクドライブ共有設定ツールを使用する前に、ホストコンピューター（実装の CD ドライブが存在するコンピューター）へアプリをインストールします。

ファイルを一時的に保存するための USB メモリーなどをあらかじめ用意してください。ここでは USB メモリーを使用したインストール方法を説明します。

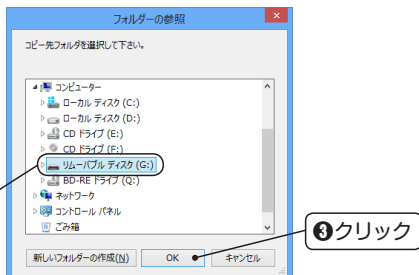
1 クライアントコンピューターでホスト用アプリをコピー

クライアントコンピューターに USB メモリーを接続し、上記の設定ツールの「ホスト用アプリのコピー」をクリックします。



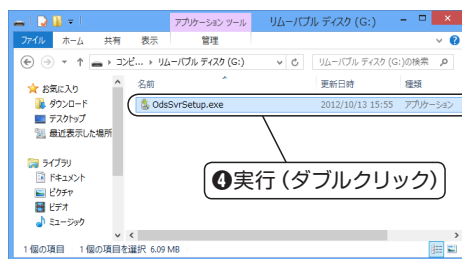
2 ファイルの保存

ファイルの保存場所として、接続した USB メモリーを選択します。



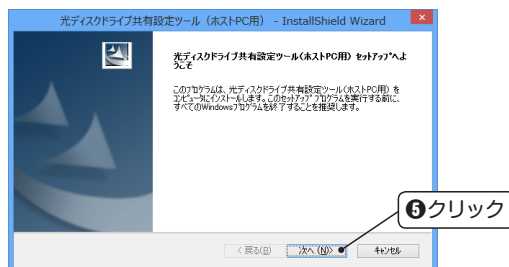
3 ホストコンピューターでファイルを実行

ファイルを保存した USB メモリーをホストコンピューター（実装の CD ドライブが存在するコンピューター）に接続し、「OdsSvrSetup」を実行します。



4 ホスト用アプリをインストール

インストーラーが起動しますので、メッセージに従ってインストールを行ってください。

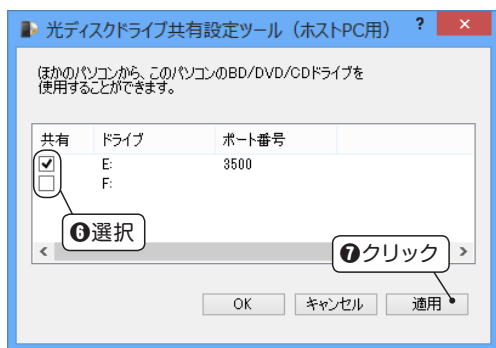


5 設定ツールの起動

「スタート」メニューで、「光ディスクドライブ共有設定ツール（ホスト PC 用）」をダブルクリックします。

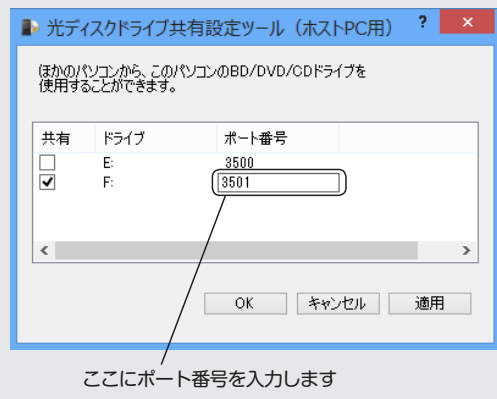
6 共有ドライブの選択

設定ツールの中で共有するドライブにチェックを入れ、「適用」をクリックします。



Point

ドライブが複数接続されている場合のポート番号の設定
設定ツールでは、実装、仮想を問わず認識されているドライブが表示され、その中で先頭のドライブにのみポート番号が設定されています。他のドライブを共有する場合は、ポート番号を手動で入力する必要があります。
ドライブ文字右側の「ポート番号」欄をクリックするとポート番号を入力することができますので、任意のポート番号を 1 ～ 65535 の範囲で重複しないように入力してください。

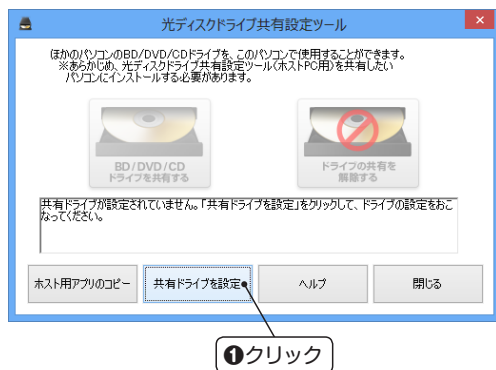


③ クライアントコンピュータでドライブ共有設定

ホストコンピュータの設定終了後、クライアントコンピュータで共有するドライブの設定を行います。

1 共有ドライブを設定

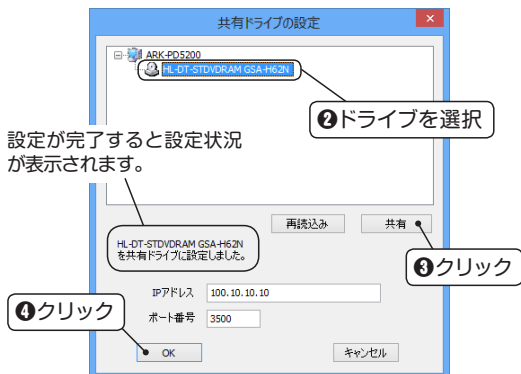
光ディスクドライブ共有設定ツールで、「共有ドライブを設定」をクリックします。



2 共有ドライブの選択

共有するドライブを選択し、「共有」をクリックします。

設定後に「OK」をクリックし、設定画面を閉じます。



6

ドライブの共有

「BD/DVD/CD ドライブを共有する」をクリックします。



ホストコンピューターへの接続中は次の画面が表示されます。

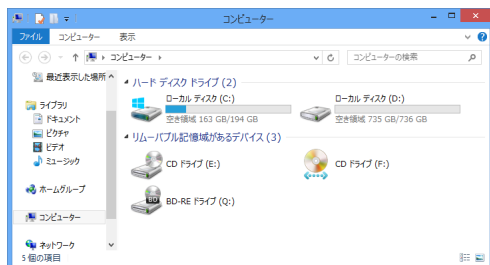


環境によっては、接続が完了するまでに時間がかかります。また、セキュリティソフトウェアが導入されている場合、接続がブロックされることがあります。ホスト、クライアント両方のコンピューターで、セキュリティソフトウェアの設定を「光ディスクドライブの共有機能」が接続できるよう許可してください。

7

設定の終了

ドライブが共有されると、CD ドライブが追加されます。



Point

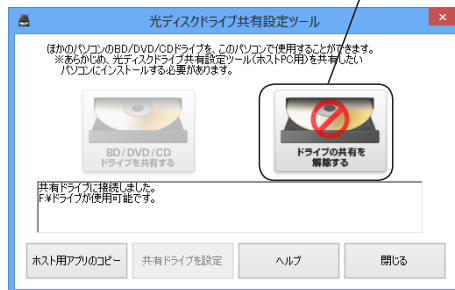
ドライブの共有後は常にドライブが表示された状態となります。ホストコンピューターの電源が入っていないような場合は、ドライブは存在しますが使用することができません。なお、非接続時は、ドライブのアイコンの色がグレーに変わりますので、接続状況を確認できます。再度ホストコンピューターに接続ができるようになると、共有ドライブが使用可能となります。

8

共有の解除

共有を解除する場合は、設定ツールで「ドライブの共有を解除する」をクリックします。

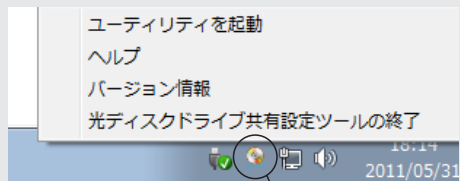
共有を解除する場合にクリック



Point

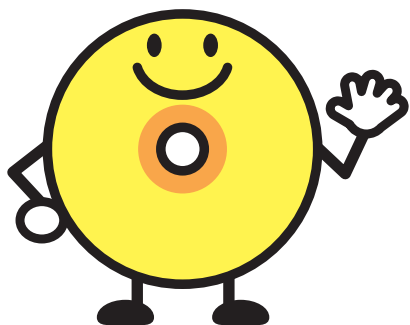
共有設定ツールの終了

「光ディスクドライブ共有設定ツール」は常駐していますので、画面を閉じただけでは終了しません。アプリケーションを終了は、タスクトレイから行います。タスクトレイのアイコンを右クリックするとメニューが表示されますので、「光ディスクドライブ共有設定ツールの終了」を選択して終了してください。



アイコンを右クリック

拡張機能編



ここでは、ファイルやフォルダーを自由に指定してオリジナルのオーディオやデータ仮想CDを作成する機能（仮想CDの編集機能）や、各種ユーティリティの利用方法について説明しています。

仮想 CD 編集メイン画面

「仮想 CD 編集」は、ハードディスクや CD/DVD などのファイルやフォルダーを選択し、オリジナルの仮想 CD を構築する機能です。CD/DVD からの構築と同じように、CD 革命 /Virtual のメイン画面に登録し、仮想 CD ドライブにマウントして使用します。

1 「仮想 CD の編集」を選択

Ark ランチャーで「基本機能」→「仮想 CD の編集」を選択します。

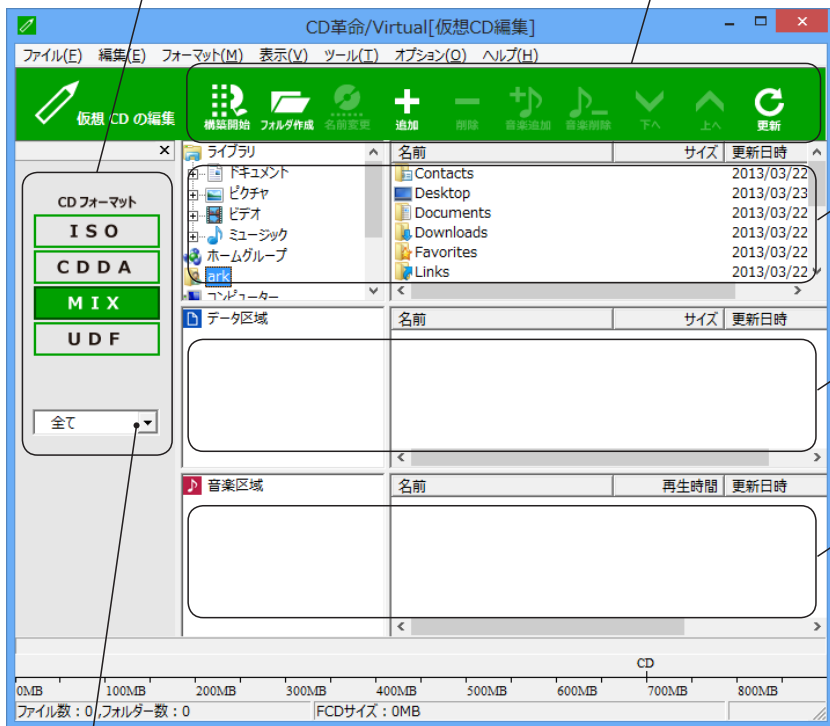
CD 革命 /Virtual のメイン画面で「仮想 CD の編集」ボタンをクリックすることでも起動できます。

2 CD 革命 /Virtual 「仮想 CD 編集」のメイン画面

下の CD 革命 /Virtual 「仮想 CD 編集メイン画面」で、ファイル・フォルダーの選択、フォーマットの指定、仮想 CD 構築の開始、そのほかの操作を行います。

バーチャルバー：
編集する仮想 CD のフォーマットを選択します。
選択したフォーマットにより、右側の欄が変化します。

ツールバー：
ファイルの追加、削除、順番の並び替えなどを行うことができます。
仮想 CD の構築の開始もここから行います。



エクスプローラ区域：
Windows のエクスプローラと同様にファイル、フォルダーが表示されます。

データ区域：
エクスプローラ区域で選択したファイル、フォルダーを追加します。

音楽区域：
エクスプローラ区域で選択したオーディオファイル（拡張子が wav、mp3、wma、cda）を追加します。

オーディオフィルター：音楽区域に登録できるファイルのみ表示するようにできます。

Information

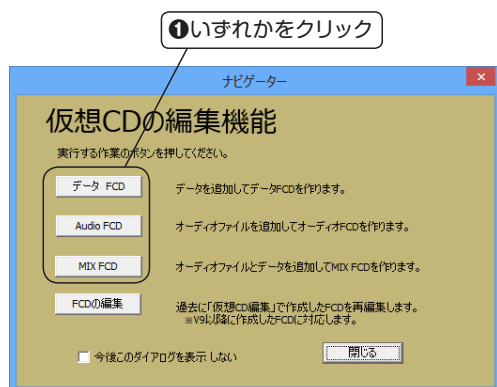
画面の上にあるメニューや右クリックメニューでも各操作や機能呼び出すことができます。

オリジナルの仮想 CD を構築する (仮想 CD の編集)

オリジナルの仮想 CD を構築するためには、仮想 CD 編集メイン画面で、「データ区域」、または「音楽区域」にファイル、フォルダーを追加します。ここで、データ CD (ISO)、音楽 CD (CDDA)、MixCD (MIX)、データ DVD (UDF) のフォーマットで仮想 CD の構築を行うことができます。

1 CD フォーマットの選択

仮想 CD 編集メイン画面を起動すると、最初に次の画面が表示されます。ここで、作成する CD フォーマットを「データ FCD」、「AudioFCD」、「MIXFCD」の中から選択します。



①いずれかをクリック

Information

CD フォーマットは、仮想 CD 編集メイン画面の「フォーマット」メニュー、またはバーチャルバーでも選択できます。

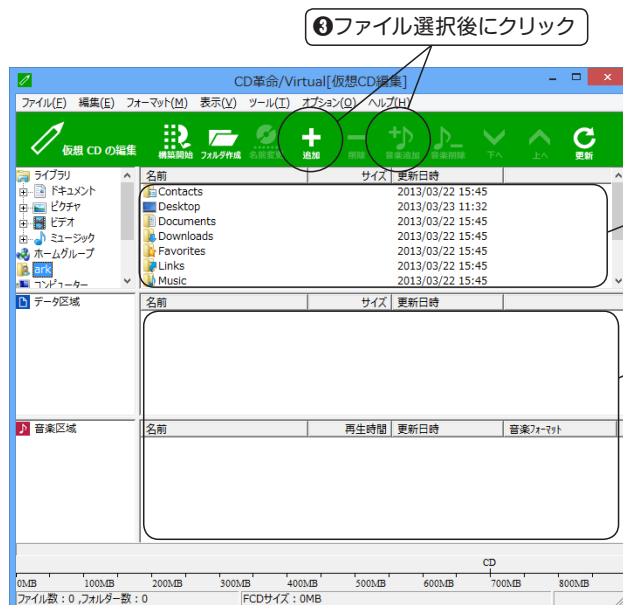
2 ファイルの追加

フォーマットを選択すると、そのフォーマットに合わせてメイン画面が変わります。

下の画面は「MIXFCD」を選択したときの画面です。エクスプローラ区域で仮想 CD に追加するファイルを選択し、「追加」または「音楽追加」ボタンで追加します。

Point

エクスプローラ区域で選択したファイルを、「データ区域」、「音楽区域」にドラッグアンドドロップして追加することもできます。



③ファイル選択後にクリック

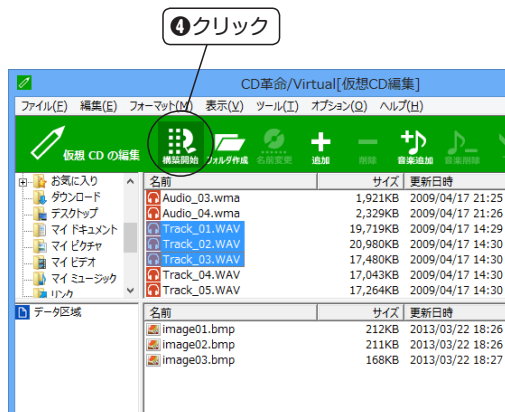
②ファイルを選択

③により、選択したファイルがデータ区域または音楽区域に追加されます (ファイルの登録)。

登録を解除するときは、ファイルを選択して「削除」または「音楽削除」ボタンをクリックします。

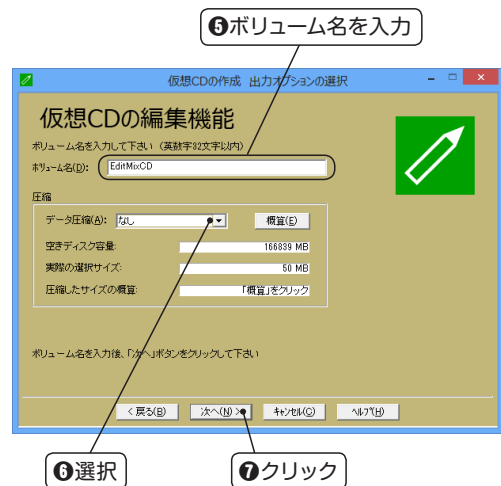
3 構築の開始

「構築開始」をクリックします。



4 出力オプションの選択

仮想 CD につけるボリューム名を入力します。
仮想 CD を圧縮する場合は、データの圧縮の種類を選択します。



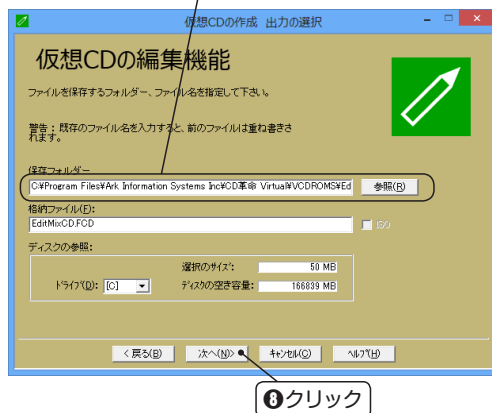
Point

ボリューム名は CD をマウントしたときに Windows の「コンピュータ」画面で CD ドライブに表示される CD のタイトルです。
後から変更はできないので、間違いがないように入力してください。

5 出力先の選択

保存先フォルダーとファイル名を確認します。

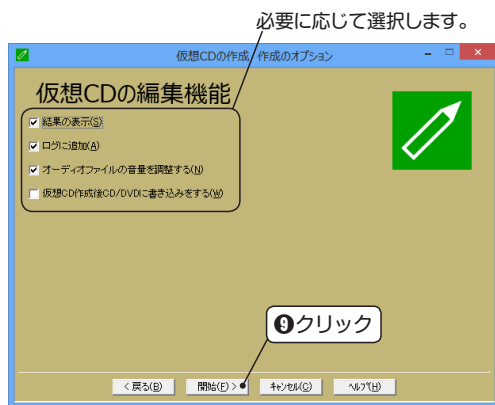
保存先のフォルダーとファイル名を変更できます。



6 構築の開始

仮想 CD の編集におけるオプションを選択します。「開始」をクリックすると構築が始まります。

「FCD 作成後 CD/DVD に書き込みをする」は、CD 革命 / Virtual で選択できるオプションで、構築終了後に書き込み設定画面（応用操作編 -17 ページ）が表示され CD/DVD に書き込みができます。



Point

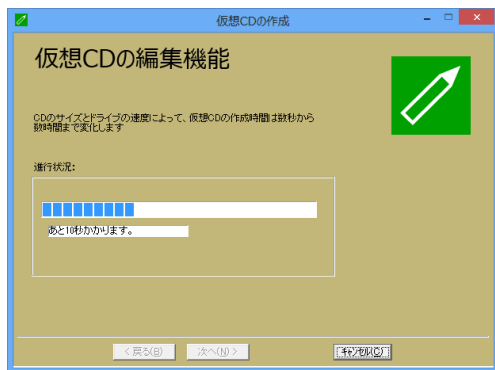
オーディオファイルの音量を調整する

AudioFCD、MIXFCD を構築する場合に有効なオプションです。登録した複数の音楽データを解析し、音量の調整と平均化を行います。ただしオーディオデータによっては効果が出ない場合があります。

7

構築の実行

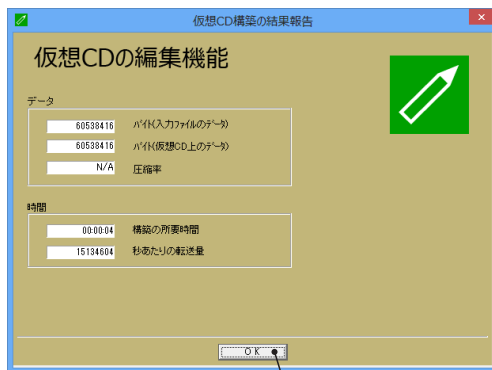
仮想 CD の構築中は進行状況が表示されます。



8

構築の終了

構築終了後に結果が表示されます。

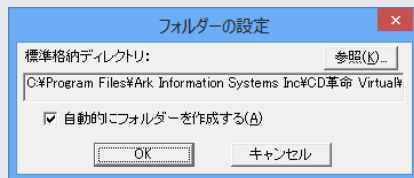


⑩クリック

Point

標準の保存先フォルダーの変更について

「仮想 CD 編集」のメイン画面で、「オプション」→「フォルダーの設定」と選択すると、「仮想 CD 編集」で構築する仮想 CD の標準の保存先フォルダーを変更することができます。



CD のフォーマットについて

CD は 1980 年代に音楽用として最初に登場しました。音質や大きさが優れていたこともあり、それまで一般的であったアナログレコードの代わりとして瞬く間に浸透しました。

また、CD は当初音楽用として開発されましたが、その後利用用途に応じて様々なフォーマットが登場しました。現在コンピュータで利用されるデータ CD もこの一つで、データを記録する規格として策定されたものです。それまで一般的なメディアは FD でしたが、FD の代わりとなるメディアとして利用されるようになりました。現在では、後継規格として DVD や BD も出ていますが、音楽 CD や一般的なデータ用 CD は、その地位を保ったまま販売されています。

CD 革命 /Virtual の「仮想 CD 編集」では、「ISO」、「CDDA」、「MIX」、「UDF」のフォーマットで仮想 CD を作成することができます。各ディスクフォーマットは次のような規定となっています。

ISO：国際標準化されたフォーマットで ISO9660 ともいいます。CD の規格上の最大容量は 740MB (74 分) ですが、「仮想 CD 編集」では、870MB (99 分) までの仮想 CD を作成することができます。

CDDA：音楽 CD (Audio CD) のフォーマットで、正式には Compact Disk-Digital Audio (CD-DA) といいます。「仮想 CD 編集」では、99 分、99 トラックまでの仮想 CD を作成することができます。

MIX：データとオーディオが混在した CD (第 1 トラックがデータ、第 2 トラック以降がオーディオ) のフォーマットで MixCD や Mix モード CD ともいいます。ISO と同様に 870MB (99 分) までの仮想 CD を作成することができます。

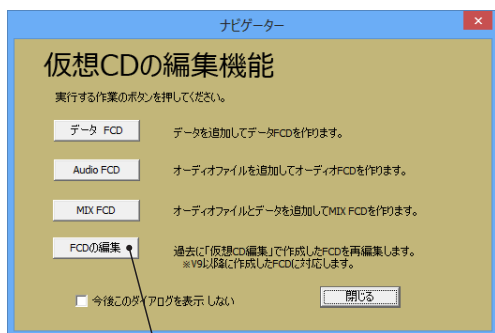
UDF：UDF (Universal Disk Format) は DVD/BD のフォーマットで、厳密には CD フォーマットではありませんが、「仮想 CD 編集」では便宜上 CD フォーマットとして記載しています。仮想 CD 編集で 870MB (99 分) 以上のデータが登録されたときは、自動的に UDF フォーマットに変更し、仮想 CD を作成します。

オリジナルの仮想 CD を編集する (ファイルの追加・削除)

「仮想 CD 編集」機能で構築したオリジナルの仮想 CD は、後から編集 (ファイルの追加・削除) を行うことができます。

1 CD フォーマットの選択

仮想 CD 編集メイン画面を起動すると、最初に次の画面が表示されます。ここで、「FCD の編集」を選択します。



1 クリック



編集できるのは「仮想 CD の編集」で構築した 870MB 以下、99 分以下、99 トラック以下の仮想 CD ファイルで、この制限を超えることはできません。また、UDF 形式で構築した仮想 CD ファイルは編集できません。

2 仮想 CD ファイルの選択

編集を行う仮想 CD ファイルを選択して「開く」をクリックします。



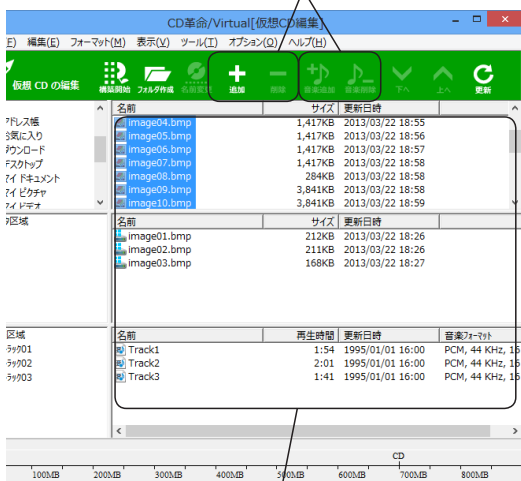
3 ファイルの追加・削除

仮想 CD 中のファイル、フォルダー、トラックが表示されます。

ファイル・フォルダーを追加する場合は、エクスプローラ区域でファイルを選択し、「追加」または「音楽追加」ボタンで追加します。

既に仮想 CD に登録されているものを削除する場合は、「データ区域」、「音楽区域」でファイル、トラックを選択して、「削除」または「音楽削除」ボタンをクリックします。

⑤ 選択後に (音楽) 追加、または (音楽) 削除をクリック



4 選択

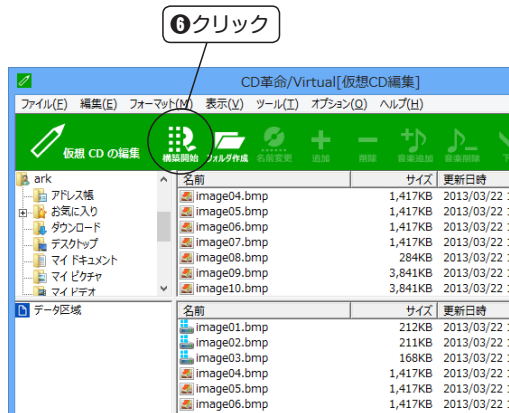


仮想 CD のフォーマットを変更して追加をすることはできないため、編集は元のフォーマットに制限されます。
(例)：編集前の仮想 CD フォーマットが AudioFCD (CDDA) の場合、データ区域は表示されないため、ファイル、フォルダーをデータ区域に追加して MIXFCD を作成することはできません。

4

構築の開始

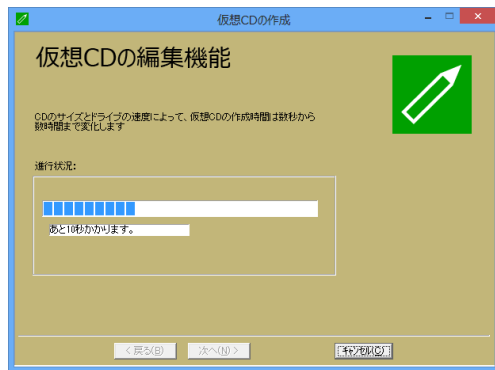
「構築開始」をクリックします。



5

構築の実行

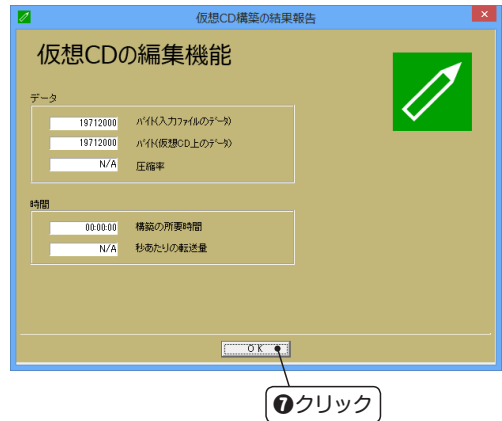
仮想 CD の構築中は進行状況が表示されます。



6

構築の終了

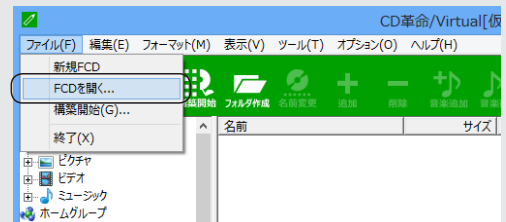
構築終了後に結果が表示されます。



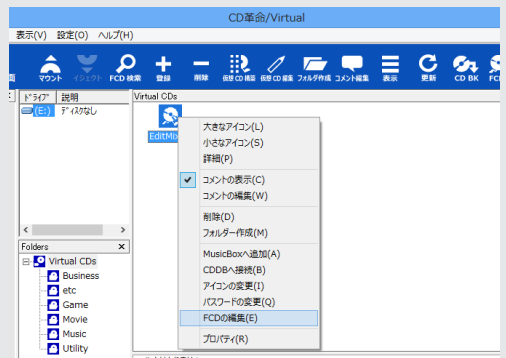
Point

「FCD の編集」は、仮想 CD 編集メイン画面、CD 革命 / Virtual メイン画面からも起動することができます。

- 仮想 CD 編集メイン画面のファイルメニューから「FCD を開く」を選択します。



- CD 革命 / Virtual メイン画面で仮想 CD を右クリックし、メニューで「FCD の編集」を選択します。



仮想 CD 専用のオーディオプレイヤーを使用する (FCD JUKEBOX)

「仮想 CD を使用する場合は、通常は仮想 CD ドライブに仮想 CD マウントする必要があります。しかし、CD 革命 /Virtual のメイン画面にオーディオトラックのある仮想 CD を登録しておく、FCD JUKEBOX で仮想 CD ドライブにマウントしなくても直接オーディオを再生することができます。

1 「FCD JUKEBOX」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「FCD JUKEBOX」を選択します。

2 FCD JUKEBOX のメイン画面

FCD JUKEBOX のメイン画面が起動します。



CD 革命 /Virtual のメイン画面に登録してある仮想 CD のうち、オーディオトラックをもつ仮想 CD が表示されます。

プレイリストを作成します。最初は MusicBox というプレイリストが登録されていますが、別の名前で作成できます。

コントローラー

再生ポジション設定

再生

停止

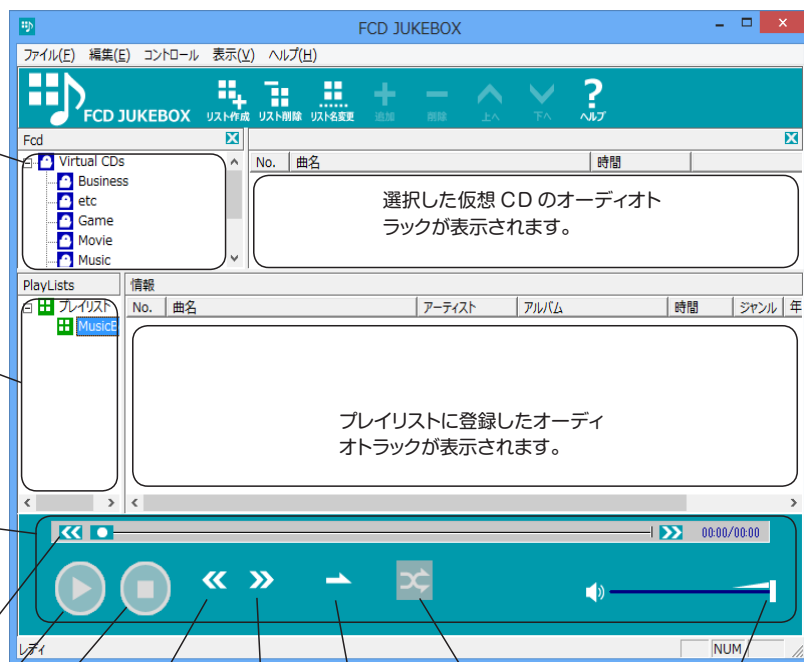
前トラックの再生

次トラックの再生

リピート再生

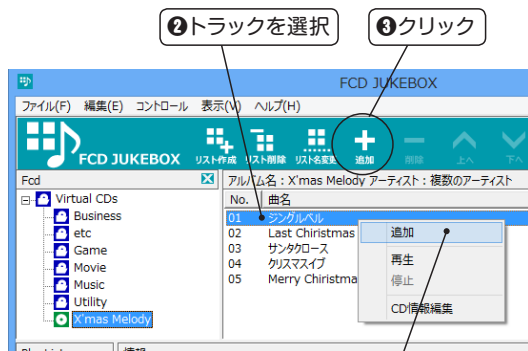
ランダム再生

音量調節



3 トラックの追加

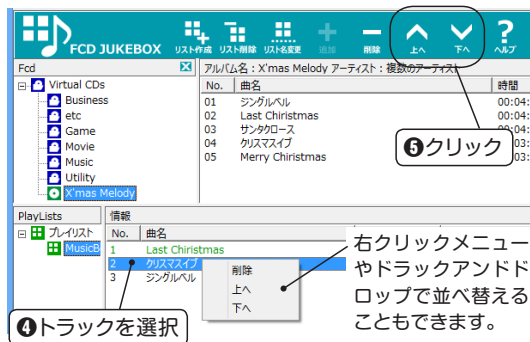
プレイリストに登録する仮想 CD を選択して、トラックをプレイリストに追加します。複数選択することもできます。



右クリックメニューやドラッグアンドドロップで追加することもできます。

4 トラックの並べ替え

トラックを選択して「上へ」「下へ」ボタンをクリックするとトラックを並べ替えることができます。プレイリストは自動的に保存されます。



5 プレイリストの再生

再生するプレイリストを選択し、コントローラーで再生をクリックします。

Point

音量を調査して平均化する

FCD JUKEBOX のメイン画面で、「ファイル」→「音量調査」を選択すると、CD 革命 /Virtual のメインに登録された仮想 CD ファイルの音量調査が実行されます。この音量調査のあと、「コントロール」→「オプション」→「音量調整」にチェックが入っているときに音量を平均化して再生することができます。オーディオトラックがある仮想 CD を新たに構築した場合は、再度「ファイル」→「音量調査」を行ってください。

プレイリストの新規作成・削除・名前の変更

新しいプレイリストの作成・削除・名前の変更は、「編集」メニューで行います。新規プレイリストの作成は、「NewList」として作成され、以後新たに作成することにその名前は「NewList1」「NewList2」「NewList…」となります。

CDDDBへ接続して CD 情報を取得

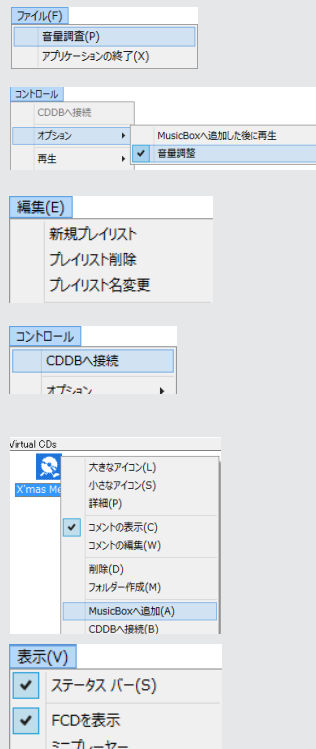
FCD JUKEBOX では、インターネット接続環境があると自動的に CDDDB に接続して情報を取得します。後から情報を取得する場合は、「コントロール」→「CDDDBへ接続」と選択します。

CD 革命 /Virtual のメイン画面からプレイリスト「MusicBox」へ追加

CD 革命 /Virtual のメイン画面でオーディオトラックをもつ仮想 CD を右クリックして「MusicBoxへ追加」を選択すると、FCD JUKEBOX のプレイリスト「MusicBox」に選択した仮想 CD の全オーディオトラックを追加することができます。「コントロール」→「MusicBoxへ追加した後に再生」が選択されていると、「MusicBox」へ追加した後、すぐに再生が始まります。

画面表示の変更

「表示」メニューで、仮想 CD 区域とステータスバーの表示・非表示を切り替えることができます。また、FCD JUKEBOX のコントローラーだけを表示する「ミニプレイヤー」に変更することができます。



仮想 CD ファイルの形式を変換する (FCD Converter)

旧バージョン (Ver.7 以前) の CD 革命 /Virtual で作成した互換モード (NoRAW モード) の仮想 CD ファイルを、RAW モードの仮想 CD ファイルに変換することができます。

本バージョンでは、オーディオトラックがある CD (音楽 CD、MixCD、CD Extra) を互換モード (NoRAW モード) で構築した仮想 CD ファイルは使用できません。このような仮想 CD ファイルの場合は変換を行ってください。なお、互換モード (NoRAW モード) で構築した ISO フォーマットの仮想 CD ファイルは、Ver.13 でも使用できますので変換の必要はありません。

また FCD Converter では、そのほかに ISO ファイルへの変換を行うこともできます。

● 1 ファイル単位で変換する場合

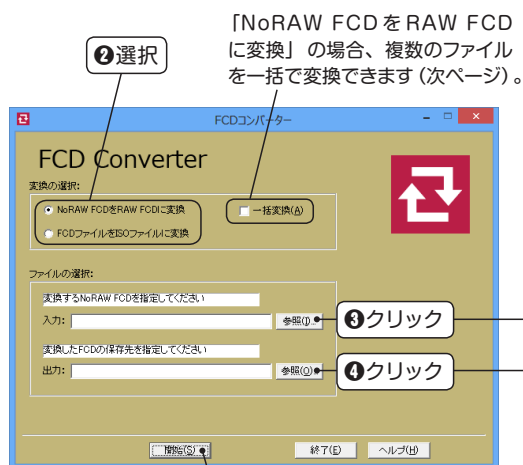
1 「FCD Converter」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「FCD Converter」を選択します。



2 変換を選択

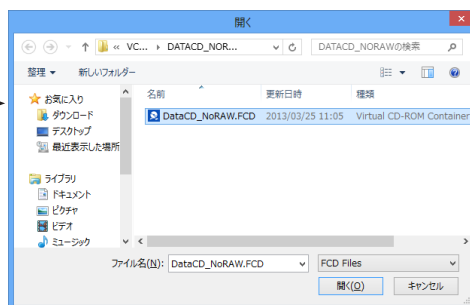
変換の方法を選択します。



5 変換ファイル/保存先を選択後、クリック

3 変換するファイルを選択

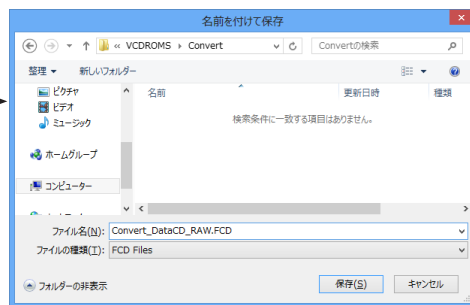
ファイルの形式を変換する変換元となるファイルを選択します。



ファイルの選択画面

4 変換したファイルの保存先を選択

変換したファイルの保存先となるフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



保存先の選択画面

5

変換の実行

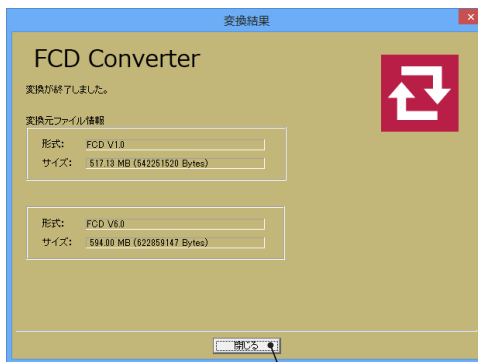
変換中は進行状況が表示されます。



6

変換の終了

変換が終了すると結果が表示されます。



⑥ クリック

●一括変換する場合

1

「一括変換」を選択

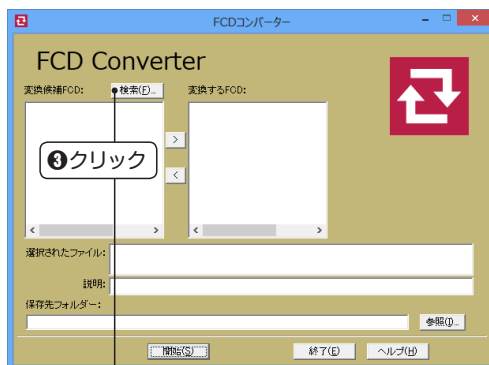
「NoRAW FCD を RAW FCD に変換」を選択した場合、複数のファイルを一括で変換できます。「一括変換」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



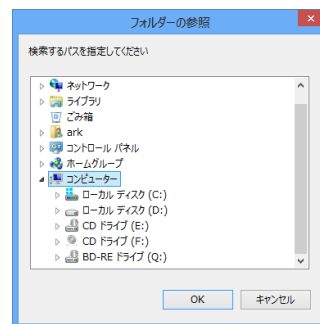
2

変換するファイルを選択

「検索」ボタンをクリックしてファイルを追加します。



検索するフォルダーを指定します。

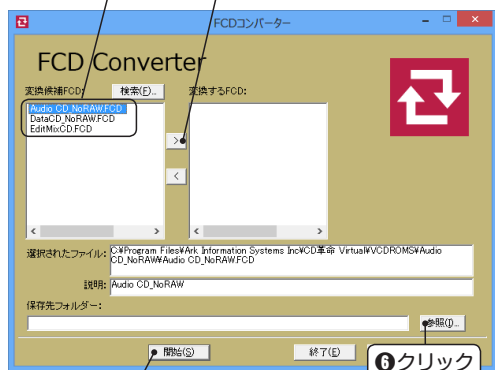


3 保存先フォルダーを選択

変換するファイルを選択し、> をクリックして右側の「変換する FCD :」に移動します。

④ファイルを選択

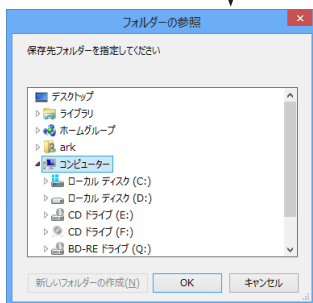
⑥クリック



⑦クリック

⑥クリック

保存するフォルダーを指定します。



Information

「一括変換」では、変換元と同じフォルダー構造、ファイル名で変換されます。また、同名のファイルが存在する場合は上書きされます。

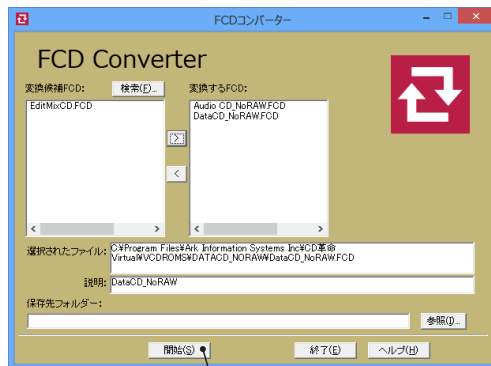
Point

FCD Converter で変換できるファイルフォーマット
変換することができるファイルフォーマットには、次のような制限があります。

- ① NoRAW の FCD ファイル → RAW の FCD ファイル
変換可能なフォーマットは ISO9660、CDDA、MixCD、CDEXtra、VideoCD、PhotoCD、Photo+DA です。
- ② ISO フォーマットの FCD ファイル → ISO ファイル
変換できるのは、ISO フォーマットのデータ CD (ISO9660 準拠のシングルデータトラック CD) を仮想化した FCD ファイルです。音楽 CD、MixCD、DVD を構築した仮想 CD ファイルは ISO ファイルに変換できません。

4 変換の開始

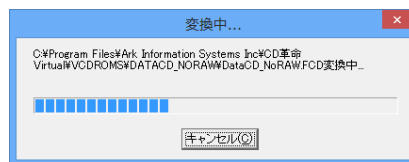
「開始」をクリックすると変換が開始します。



⑧クリック

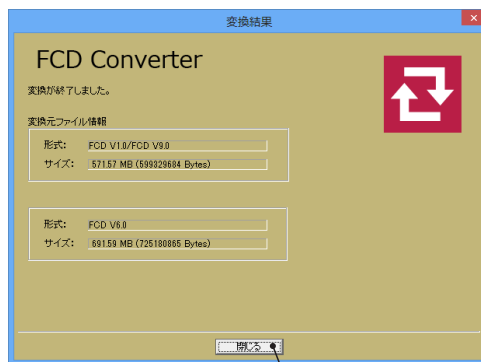
5 変換の実行

変換中は進行状況が表示されます。



6 変換の終了

変換が終了すると結果が表示されます。



⑨クリック

RW/RE メディアの消去

CD 革命 /Virtual の機能で、CD-RW、DVD±RW、BD-RE メディアに書き込むためには、書き込み前にメディアの消去を行う必要があります（CD-R、DVD±R、BD-R メディアの場合は消去の必要はありません）。

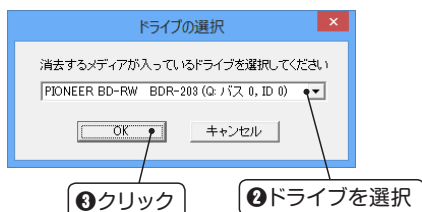
1 「RW/RE メディアの消去」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「RW/RE メディアの消去」を選択します。



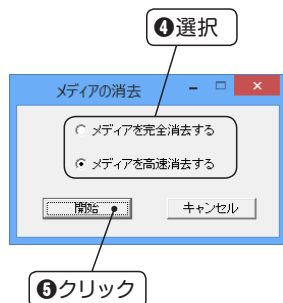
2 メディアを挿入し、ドライブを選択

RW/RE メディアを挿入し、挿入したドライブを選択します。



3 消去方法を選択

消去方法を選択します。



Information

メディアを完全消去する

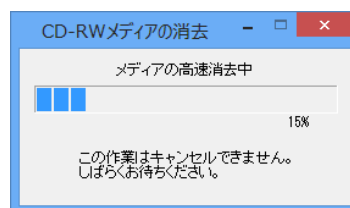
メディア全体を完全に消去します。メディア全体を消去するため時間がかかります。

メディアを高速消去する

メディアのトラック情報を消去することにより高速に消去します。

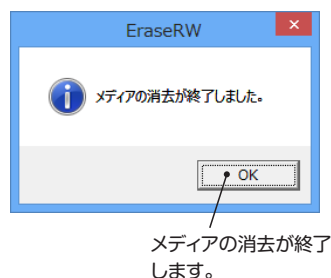
4 消去の実行

消去中は進行状況が表示されます。完全消去の場合は完了するまでに時間がかかります。



5 消去の終了

消去終了後は、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックするとメディアがイジェクトされます。



CD/DVD ドライブのアイコンを変更する (Changelcon)

仮想 CD ドライブは、「コンピュータ (マイコンピュータ)」では実装の CD ドライブと同じアイコンで表示されます。「Changelcon」により、「コンピュータ (マイコンピュータ)」に表示されるアイコンを変更することができます。仮想 CD と実装 CD を別のアイコンにしておくと、簡単に区別できるようになります。

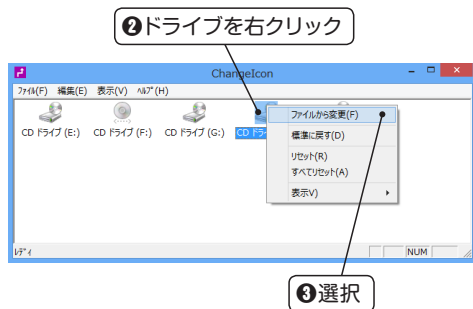
1 「Changelcon」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「Changelcon」を選択します。



2 ドライブを選択

アイコンを変更するドライブを右クリックし、「ファイルから変更」を選択します。



Information

「編集」メニューでも同じ操作を行うことができます。

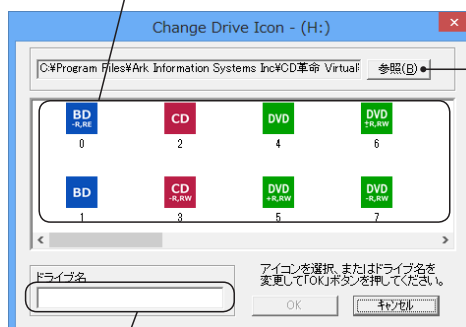


- CD ドライブのアイコンを変更すると、音楽 CD をマウントしても AudioCD アイコンに変わりません (変更後のアイコンのままとなります)。

3 アイコンを選択

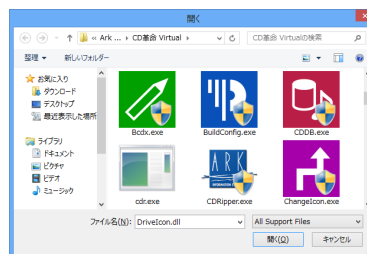
アイコンファイルの中からアイコンを選択します。

④アイコンを選択



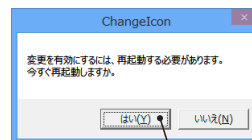
ドライブ名を変更できます。

アイコン情報を含むファイル (.dll、.ico、.exe) からアイコンを指定することもできます。



4 コンピューターの再起動

コンピュータを再起動します。再起動後にアイコンの変更が有効になります。



⑥クリック

Point

Windows 標準のアイコンに戻す

アイコンを Windows の標準のアイコンに戻すには、メニューからの操作を行います。

①ドライブを指定してアイコンを Windows 標準に戻したいとき

変更したドライブのアイコンを右クリックして、「標準に戻す」を選択します。アイコンとドライブ名が Windows 標準に戻ります。

②すべての CD/DVD ドライブのアイコンを Windows 標準に戻したいとき

メニューから「リセット」を選択すると、すべてのアイコンが Windows 標準に戻ります。

③A：からZ：までのすべてのドライブのアイコンを Windows 標準に戻したいとき

メニューから「すべてリセット」を選択すると、CD/DVD 以外のアイコン（FD やリムーバブルドライブなど）もすべて Windows 標準に戻ります。



アイコンの変更について

アイコンの変更は、ドライブ文字に対応して行われます。例えば、D: が CD ドライブのときにこのアイコンを変更したとします。その後パーティションが追加され、D: がハードディスクに変わってしまった場合でも、D: のアイコンはそのままになります。自動的にハードディスクのアイコンには戻りません。

CD/DVD 以外のアイコンを Windows 標準のアイコンに戻すためには上記③の「すべてリセット」操作を行ってください。

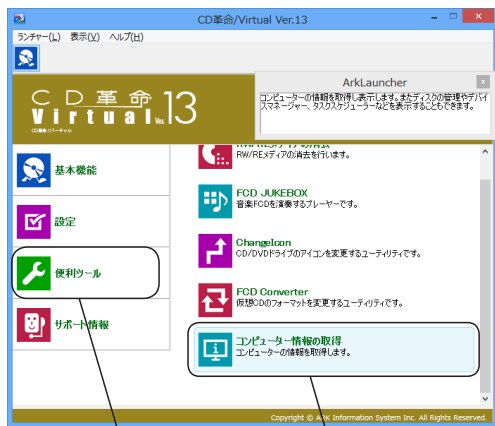
なお、変更したアイコンは、CD 革命 /Virtual をアンインストールしても元に戻りません。元の Windows 標準のアイコンに戻すためには、アンインストールする前に上記③の「すべてリセット」操作を行ってください。

コンピューター情報の取得

コンピューターに関する情報を取得し、表示することができます。

1 ツールの選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「コンピューター情報の取得」を選択します。

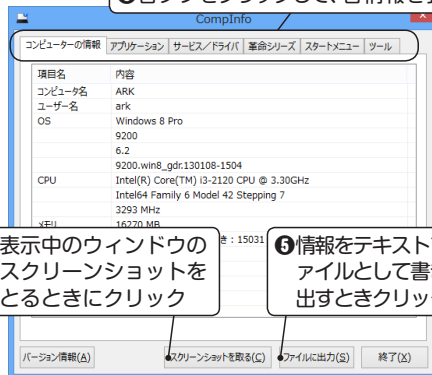


①クリック

②クリック

2 コンピューター情報の取得

③各タブをクリックして、各情報を表示

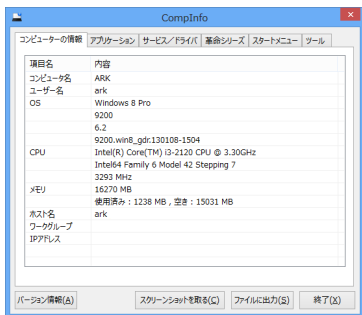


④表示中のウィンドウのスクリーンショットをとるときにクリック

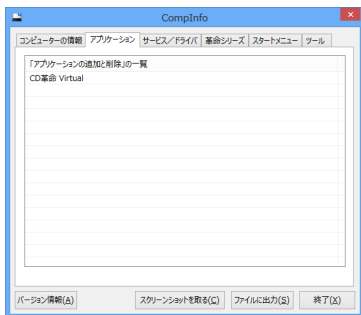
⑤情報をテキストファイルとして書き出すときクリック

Point

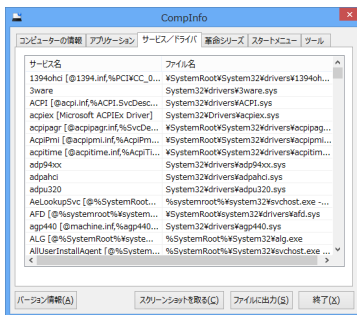
「スタートメニュー」タブでチェックしたメニューを Windows のデスクトップに作成することができます。「ツール」タブで「ディスクの管理」「タスクスケジューラ」ほかの Windows の機能呼び出すことができます。



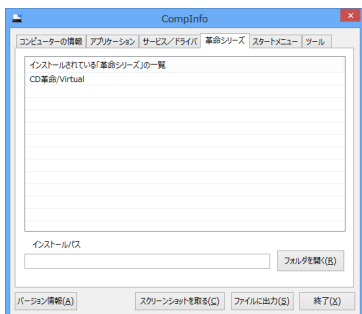
「コンピューターの情報」タブ



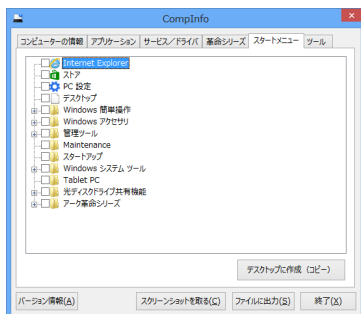
「アプリケーション」タブ



「サービス/ドライバ」タブ



「革命シリーズ」タブ

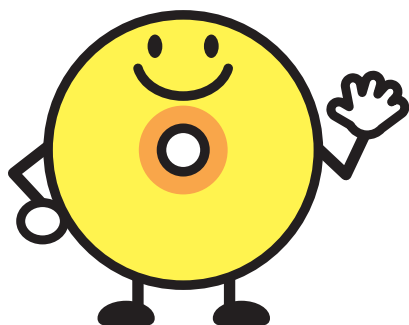


「スタートメニュー」タブ



「ツール」タブ

付 録



用語の解説、ユーザーサポートに関連する情報を掲載しています。

用語の解説

AACS (Advanced Access Content System)

映像のコピープロテクト規格で、市販の BD VIDEO で採用されている。

BD-R/RE

青紫レーザーを用いる大容量記録メディア。Blu-ray ディスクの略称。片面1層で 25GB の記憶容量がある。BD-R は1回のみ記録が可能で、BD-RE は書き換えが可能となっている。

BD-Video (BDMV)

Blu-ray ディスクの映像用ディスク。主に市販されている映像用ディスクを BD VIDEO と呼ぶ。

CAV (Constant Angular Velocity)

CAV は「角速度一定」の意味で、CD/DVD メディアの読み書きの方法として用いられる。常に一定の回転速度でメディアを回転させながら、データの読み書きを行う方式を指す。

CD COPS

記録密度を利用したプロテクト技術の一つ。

CD-DA (Compact Disc Digital Audio)

音楽用 CD のことで、音楽 (音声) がサンプリング周波数 44.1kHz、16 ビットの PCM 方式でデジタル録音されている。最大 99 トラックまで記録できる。

CDDb (CD DataBase)

音楽 CD の情報を提供するためのデータベース。CDDb に対応したソフトウェアは、タイトル、曲名、アーティストなどのデータをダウンロードすることができる。

CD-Extra

1 枚で音楽用 CD と CD-ROM の両方を実現させる規格。マルチセッションで、第1セッションにオーディオトラック、第2セッションにデータトラックを収めている。通常の音楽用 CD プレーヤーでオーディオトラックを音楽用 CD として再生することができる。

CD-G

音楽用 CD の拡張規格で、R-W サブコードエリア

と呼ばれる領域にテキストや静止画像を記録できる。カラオケ CD や教育 CD などに使われている。

CD-TEXT

音楽 CD にアルバムのタイトルや曲名などを入れる規格。

CLV (Constant Linear Velocity)

CLV は「線速度一定」の意味で、CD/DVD メディアの読み書きの方法として用いられる。メディアの内周、外周に関わらず、記録面の移動速度を一定にしてデータを読み書きする方式で、内周は回転が遅く外周にいくほど速くなる。

CODEC

コーデック (CODEC) は、Compression/DECompression の略。データを圧縮、展開するプログラムで、サウンドやビデオの再生で用いられる。

CSS (Content Scrambling System)

データを暗号化して記録する技術。市販の DVD VIDEO は、この CSS によるコピープロテクトがかけられている。

DVD-Video

映像と音声 CD と同じサイズのメディアに収録されたディスクで VIDEO CD より高画質である。再生には DVD VIDEO 対応のプレーヤー、またはソフトウェアが必要。

FCD

「CD 革命 /Virtual」で作成されるコンテナファイルの拡張子。このファイルを「FCD ファイル」と呼ぶこともある。ファイルサイズが大きい場合は 2GB ごとに分割される。

ISO (ISO9660)

ISO (国際標準化機構) によって定められた、CD-ROM のためのファイルシステム。このフォーマットでつくられた CD-ROM であれば、Windows、Macintosh、UNIX などの異なった OS、機種でもデータを読むことができる。

ISRC (International Standard Recording Code)

音楽用 CD に記録される国際標準コード。国別コード、オーナーコード、記録年、シリアル番号から成る。

MixCD (Mix Mode CD)

ゲームソフトによく見られる、データトラックとオーディオトラックの両方をもつ CD。第1トラックにパソコン用データ、第2トラックに音楽データが記録され、第1トラックは音楽 CD プレーヤーでは再生できない。「CD 革命 /Virtual」では、「Mix」、または「MixCD」と表記。

MP3 (MPEG1 Audio Layer-3)

データ圧縮方法の一つ。主に音楽データの圧縮に広く利用されている。元のデータの約 10 分の 1 まで圧縮することができる。

MPEG (Moving Picture Experts Group)

動画や音声を圧縮するための技術、または、標準化団体の名称。

NoRAW

古いバージョンの「CD 革命 /Virtual」で作成されたコンテナファイルの形式で、以前は互換モードと呼んでいた。オーディオトラックは「.WAV」として保存される。Ver.8.5 以降では主画面の「形式」に「NoRAW」と表示される。

PhotoCD

Kodak 社が開発した写真のイメージデータを記録した CD-ROM。

P-Q

「サブコード」の項を参照。

RAW モード (ロウモード、ローモード)

「CD 革命 /Virtual」 Ver.6.0 以降に搭載された、元の CD に近い形式の仮想 CD を作成するときの構築方法。

R-W

「サブコード」の項を参照。

SafeDisc

プロテクト技術の一つ。CD/DVD 上に読めないセクター (エラーセクター) や再現が難しいセクター

を作り複製を困難にしている。

SecuROM

記録密度を利用したプロテクト技術の一つ。

TOC (Table Of Contents)

CD においてリードイン (データ領域の前) に書き込まれる情報。トラックの数、データ開始位置、サイズが記されている。

STARFORCE

記録密度を利用したプロテクト技術の一つ。

UDF (Universal Disc Format)

主に DVD で使われているファイルシステム。

UPC (Universal Product Code)

13 桁の製品コードで音楽 CD に利用されている。

VIDEO CD

圧縮した音声つき動画を記録するための CD の規格。再生には VIDEO CD 対応のプレーヤー、またはソフトウェアが必要。

WAVE

Windows が扱える音声ファイルの形式の一つ。拡張子は「.WAV」。

WMA (Windows Media Audio)

Microsoft 社が開発した Windows Media Technology の音声についてのフォーマット。

アドバンスモード

「CD 革命 /Virtual」でエラーセクターがある CD を構築する際に用いる構築方法の一つ。

イメージファイル

CD/DVD の内容をハードディスクにファイルとして保存したもの。イメージファイルを作成するソフトウェアによってフォーマットや拡張子は異なり互換性はないが、複数のフォーマットに対応したソフトウェアが増えている。

「CD 革命 /Virtual」では、ISO 以外に CloneCD、DiscJuggler、Alcohol 52% などで作成したイメージファイルを使用することができる。

インデックス

トラックの中でさらに頭出しを可能にする機能。Qサブコードにマーカーをつけることにより可能になる。

エラーセクター

物理的に読めないセクターを意味し、バッドセクターとも呼ばれる。プロテクトによっては、CD に意図的にエラーセクターを作成するものがある。

エンコード / デコード

エンコードは、「暗号化」や「圧縮・変換」を行うときに用いられる。また、デコードはその逆で「復号化」や「復元・再生」を行うときに用いられる。オーディオファイルでは、WAVE ファイルを MP3、WMA に変換することをエンコード、WAVE ファイルに復元することをデコードと呼ぶ。

オンザフライ方法

メディアにデータを書き込むとき、CD イメージファイルを作成せずに直接元のデータを読み、同時並行的に書き込む方式。ハードディスクの空き容量が少なくても書き込みが可能になるが、CPU やハードディスクの処理性能が低いと、書き込みに間に合わずエラーが発生することがある。

コンテナファイル

「CD 革命 /Virtual」によって作られる仮想 CD 箱「コンテナファイル」と呼ぶ。拡張子が「.FCD」のイメージファイルとして保存される。

サブコード (サブチャンネル)

音楽用 CD にはオーディオデータとは別の独立したデータ領域がある。ここに含まれる情報をサブコードといい、P～W の8つのコードから成っている。P-Q サブコードには CD の目次などが記録されており、R-W サブコードには CD-G や CD-TEXT などの情報が記録されている。

セクター

データを記録する際の最小単位。

セッション

CD を構成する記録単位。リードイン、データ、リードアウトの構成をセッションと呼ぶ。

ディレクトリ

階層構造のファイル管理方式では、一つの階層をデ

ィレクトリと呼ぶ。

デフォルト

もっとも一般的な (そのまま利用できるような) 設定がされていること。

デフォルトドライブ

「CD 革命 /Virtual」でコンテナファイルが優先的に挿入されるドライブのこと。一番最初に挿入したドライブ文字が割り当てられるが、変更することができる。複数のコンテナファイルに同じデフォルトドライブが割り当てられている場合、ホットキーで入れ替えを行うことができる。

トラック

CD を構成する記録単位。音楽 CD では1曲が1トラックとなる。最大 99 トラックまで作成可能。

トラックアットワンス

メディアに書き込む際に、トラックごとに書き込む方式。後からデータを追記することが可能。TAO と略されることがある。

ディスクアットワンス

メディアに書き込む際に、すべてのデータを一気に書き込む方式。後からデータを追記することはできない。DAO と略されることがある。

ビットレート

1 秒間あたりのデータ量で、単位は bps (bits per second)。オーディオトラックを MP3、WMA に変換するときの音質を表す単位として用いられ、値が大きいほど高音質となる。ビットレートには、固定ビットレート (CBR) と可変ビットレート (VBR) があり、固定ビットレートは常に同じビットレートでエンコードし、可変ビットレートはデータによりビットレートを可変させエンコードを行う。

フォーマット

コンピューターやアプリケーションが用いるデータの形式。「CD 革命 /Virtual」では、ISO、MixCD、CDDA などの CD の形式をフォーマットと記載している。

プレイリスト

再生する曲順やタイトルを記載したファイルのこと。

プロテクト

データやソフトウェアを保護すること。CD/DVD にも不正コピー防止のためのプロテクトがかけられることが多くなっている。

プロファイル

ユーザーごとに環境を記録する機能、または情報を記録するファイルのこと。「CD 革命 /Virtual」では、構築オプションの設定をプロファイルとして保存することができる。

ベーシックモード

「CD 革命 /Virtual」でエラーセクターがある CD を構築する際に用いる構築方法の一つ。エラー訂正の方法がドライブによって異なるため、「アドバンスモード」で構築した仮想 CD がうまく機能しないときなどに使用する。

ホットキー

特定の機能を実行するために利用できるキー入力のこと。

ボリューム

フロッピーディスクや CD-ROM のまとまりを指す単位。画面にアイコンで示されるディスクを指す。CD では通常 1 枚の CD が一つのボリュームになる。

ボリュームラベル

CD を挿入するとマイコンピュータ画面の CD アイコンの下に表示される、ディスクを識別するための名前。「CD 革命 /Virtual」は、標準でボリュームラベルが仮想 CD の名前になる。

マルチセッション

複数のセッションで記録された CD。CD Extra はマルチセッションで記録された CD。

ライティングエンジン

CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、BD-R/RE メディアへの書き込みを行うための機能、またはそのシステムのこと。CD 革命 /Virtual は Padus 社のライティングエンジンを搭載している。

リードイン、リードアウト

CD において、データの記録開始位置、終了位置を示す領域。リードインには TOC が記録される。

ログ

時間の経過とともに変化するものを後からわかるように残した記録のこと。

拡張子

ファイルの種類を区別するために、ファイル名の後に「.」を挟んでつけられる文字列のこと。(例: .FCD .ISO)

格納

「CD 革命 /Virtual」で CD/DVD をハードディスクに保存 (収納) すること。

記録密度

記録媒体に記録できる量を、単位長さ、または単位面積で表したもの。これを利用した CD/DVD のプロテクトが存在する。

構築

「CD 革命 /Virtual」で仮想 CD を作成すること。「仮想 CD を構築する」という。

互換モード

「NoRAW」の項参照。

常駐

Windows の起動中に、常にあるソフトウェアが動いていること。

ユーザーサポートのご利用にあたって

お問い合わせになる前に

①操作方法・トラブル内容について調べる

インターネット接続が可能な場合は、FAQ（よくあるお問い合わせ）をご覧ください。操作上の注意点、トラブル内容と対処方法などが記載されています。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/support/index.html>

②アップデートをダウンロードする

最新アップデートを適用することにより、改善する場合があります。下記からダウンロードしてください。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/download/index.html>

③弊社サポートへ問い合わせる

上記によっても解決しないとき、またはインターネット接続ができない場合に弊社ユーザーサポートをご利用ください。

お問い合わせにあたって

■メールフォーム：https://www2.ark-info-sys.co.jp/ARK_N/MailSupport/MainGate.asp

■FAX：03-3234-9252

■TEL：03-3234-9251（祝祭日・弊社休業日を除く月～金の10～12時、13～17時）

お問い合わせいただく際、メール、FAX、電話のいずれの場合においても以下の項目が必要です。

① ユーザー ID

② 製品名、バージョン、シリアルナンバー

③ ご使用の OS（Windows 8 など）

④ エラーメッセージ全文

障害の状況により、さらに詳しい情報が必要な場合があります。エラーが発生するまでの手順を、箇条書きでお知らせください。

- （例）
1. 「仮想 CD の構築」をクリック
 2. 「開始」をクリック
 3. アプリケーションエラーが発生
エラーメッセージ「*****」（正確に転記してください）

※お客様の個人情報は、弊社情報セキュリティ方針に従い適切な保護を行います。詳しくは弊社 Web サイトをご覧ください。

※FAX の場合、「ユーザーサポート申込書」をコピーしてご記入のうえお送りください。

※メール・FAX の場合、お問い合わせの内容により3～5営業日ほどお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※曜日や時間帯によってはお問い合わせが集中し、お電話がつながりにくくなる場合がございます。その際は、恐れ入りますが時間をずらしてお電話をいただきますようお願いいたします。



● 弊社で動作保証している環境以外（自作のコンピュータ、ショップメイドのコンピュータ、CPU オーバークロック、そのほかハードウェアの改造など）で不具合が発生するケースにおいては、パーツの相性や、デバイスドライバがその一因となっていることがあります。

● その場合、すべてのパーツの組み合わせの相性テストは不可能であり、弊社ユーザーサポート環境にて再現性のない場合や、相性により発生していると思われる問題につきましては対応が不可能な場合もあります。ご了承ください。

● 他社製品、シェアウェアなどのパーティション操作ソフトウェア（マルチブートユーティリティなど）との共存は原則としてサポート外とさせていただきます。

この用紙をコピーして各項目にご記入の上、下記まで FAX にてお送りください。

必ずユーザー登録終了後にユーザーサポートをお申し込みください。

FAX 03-3234-9252

株式会社アーク情報システム 企画販売部 ユーザーサポート係 行

「CD 革命 /Virtual Ver.13」 ユーザーサポート申込書

お使いの環境を、わかる範囲でご記入ください（この用紙でユーザー登録はできません）。

●弊社からお客様への連絡方法（FAX、E-Mail から指定してください。ただし、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。）

1. FAX 2. E-Mail

●お客様のお名前・ご連絡先・対象の製品（※ は必ずお書きください）

*お名前：

TEL： FAX：

E-Mail アドレス：

*シリアルナンバー：

CD 革命 /Virtual アップデータの有無：有・無 (Ver.)

●お使いのコンピュータについて

メーカー名：

機種名とシリアルナンバー：

メモリー（RAM）容量：

Windows の種類： Windows 8 / Windows 8 Pro (SP

Windows 7 Starter / HomePremium / Professional / Ultimate (SP

Windows Vista Basic / Premium / Business / Ultimate (SP

32bit 版 / 64bit 版

接続されている周辺機器：

.....

.....

ボード、カードをご利用の場合

・I/F: SCSI、eSATA、RAID、USB2.0、USB3.0、IEEE1394、その他 (.....

・メーカー、型番、チップセット：

.....

.....

●お使いのソフトウェアについて

インストールされているアプリケーションプログラム・常駐プログラム：

.....

.....

●**起こった現象**（どのような現象がおこったか、可能な範囲で詳しく記入してください）

エラーメッセージ： _____

現象： _____

エラーメッセージ： _____

現象： _____

エラーメッセージ: _____

現象：

エラーメッセージ: _____

- ・本ユーザーズ・マニュアルの PDF ファイルが本製品 CD 内「MANUAL」フォルダーに収録しており、Adobe Reader（Adobe 社の閲覧ソフトウェア）を使用し、オンラインマニュアルとしてご利用いただくことができます。
- ・Adobe Reader はセットアップ画面からインストールすることができます。
- ・Microsoft[®], Windows[®]8, Windows[®]7, Windows Vista[®], Windows[®]XP は米国 Microsoft Corporation の、米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・その他の会社名、商品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

CD 革命 /Virtual Ver.13 ユーザーズ・マニュアル

2013 年 4 月 1 日 第 1 版発行

発 行 株式会社アーク情報システム

〒102-0076 東京都千代田区五番町 4- 2 東プレビル

© 1996 — 2013 Ark Information Systems

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

著作権法の範囲を超え、本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。